

令和 6 年度事業実績

1 利用者の状況

(1) 施設区分・年度別利用者数

(単位：人)

年度	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
ホール (紅葉坂ホール) ※1	95,272	18,866	37,897	0	59,654	82,204
多目的プラザ (スタジオHIKARI)	21,313	7,574	13,416	13,694	20,523	24,720
練習室	13,540	4,360	7,887	4,806	11,839	18,210
科学体験室 (厚木) ※2	1,204	338	648	1,628	1,469	1,376
研修室	7,024	1,217	2,060	3,439	8,209	8,221
屋上(星空教室、高校生天文講座、天文研究クラブ)	597	281	528	453	699	870
演劇資料室	2,445	1,129	1,566	1,627	1,627	1,166
子ども・若者総合相談センター・ひきこもり地域支援センター 面接相談	726	851	157	149	254	216
青少年サポートプラザ ※3	3,361	326	363	1,381	1,729	1,656
計 (a)	145,482	34,942	64,522	27,177	106,003	138,639
県西部青少年サポート相談室面接相談	78	84	92	90	96	88
神奈川県地域青少年相談窓口面接相談	110	92	98	52	80	63
合 計	145,670	35,118	64,712	27,319	106,179	138,790
学校、市役所、公民館、野外施設など当センター以外での事業参加者	7,483	1,070	1,070	2,424	3,208	4,253

※1 令和 4 年度は、ホール天井改修工事のため休館した。

※2 科学体験室は、平成 30 年 10 月に、科学部移転に伴い、厚木市に移転した。
人数は科学体験室での講座受講者数。

※3 平成 26 年 3 月末に別館の青少年サポートプラザを閉館し、本館に移設した。

(2) 施設利用者の内訳

児童・生徒 (小学生～高校生)	一 般	合 計
46,524	78,610	125,134

(注) 屋上、演劇資料室、面接相談、青少年サポートプラザ利用者及び他の施設利用者数は、生徒・一般の区分は設けていないため、内訳集計から除いている。

2 事業の実施状況

(1) 全館的事業

青少年センターの事業を円滑に運営するため庁舎諸施設の維持管理、人事、財産、予算経理等の管理事務及び県下に広く青少年センターの事業を周知するための広報活動事業を実施した。

ア 広報活動事業

(7) 行事紹介チラシの配布

青少年センターの行う事業を青少年・一般県民に広く周知し、利用促進を図るため、各課が作成した広報資料（印刷物）を同封し、全館広報として配布した。

「青少年センターのお知らせ」チラシ・ポスターについては、令和6年5月号、7月号、10月号、12月号を作成し配布した。

全館広報の配布月	配布先
5月、7月、10月、12月(年4回)	児童施設、図書館、小・中・高校、公共施設等、本庁、県出先機関、銀行、市町村、報道機関等

(4) フェイスブックを用いた情報の発信

近年のソーシャルメディアの普及に伴い、新たな媒体を活用した積極的な情報の発信を行うことで、従来の利用者のみならず、新たな利用者層を開拓することを目的に、フェイスブックページを開設した。

開設日 : 平成27年2月21日

アドレス : <https://www.facebook.com/kanagawa0230>

イ 青少年センター子どもフェスティバル

開催日 : 令和7年1月19日(日)

テーマ : ワクワクとドキドキをいっぱい集めよう

入場者数 : 2,891人

*入場料無料、申込不要、入退場自由、誰でも参加可能

(2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

人材の育成事業として、地域で青少年の支援・指導に関わる方や青少年行政・施設関係職員、そして青少年に関わる活動をしている若者を対象とした研修を実施した。研修にあたっては、自然体験、野外活動等の多様な体験や群れ遊びの実践、そして仲間づくり・グループづくりに効果的なアイスブレイキングや様々なグループワークの体験、また、若者を対象とした研修では、実際に青少年センター事業である「子どもフェスティバル」や子どもキャンプの企画づくりをし、運営するなど、活動に必要な知識・技術を参加者自身が実践的・体験的に身につけ、参加する中で横のつながりを築くこともできる内容とした。

また、神奈川県青少年指導者養成協議会を運営し、県・市町村・青少年関係団体の連携を図るとともに、団体等への活動支援として協働での事業開催や講師派遣、青少年支援・指導者のための「わかものまんなか社会へ - 地域参画の事例集 -」を作成し、ホームページで公開した。

区分	事業名	概 要	対象者	参加者 延べ数
ア 青少年支援・指導者育成推進事業				
(7) 青少年支援・指導者の育成	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定。（日帰り4回）	青少年指導員	146人
	NEALリーダー養成セミナー	県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学ぶ。受講後は、全国体験活動指導者認定委員会から「自然体験活動指導者（NEAL）」の資格が認定される。（日帰り1回、1泊2日1回）	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等	31人
	子どもの体験活動をすすめる指導者セミナー〈水辺の活動編〉	主に水辺（川）を使った野外活動のプログラムの指導法の基礎的な技術を学ぶ。あわせて安全管理のノウハウや、野外活動を企画する際のポイントなどについても学ぶ。（日帰り1回）	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等	13人
	体験学習プログラムセミナー	子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法やアイスブレイキング等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図った。（日帰り5回）	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等	86人
	人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」	指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体の実施する事業に講師として派遣し、実際の現場での指導を通して、知識や技能のスキルアップをはかる機会を提供した。	青少年センター研修受講生	408人
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的な知識と技能の向上、お互いのネットワークづくりを図った。（日帰り2回＋1泊2日1回）	新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	40人

区分	事業名	概 要	対象者	参加者 延べ数
	アップスキリングプロジェクト	青少年行政等に関わる職員が効果的な業務の遂行に必要な能力の向上・知識技術の習得・ネットワーク化・情報交換の活発化を図った。（日帰り1回）	青少年行政関係職員、青少年関係団体職員、子どもたちを支援するNPO団体スタッフ等	9人
	子ども施設指導員セミナー	子ども施設（児童館等）の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図った。（日帰り6回）	青少年育成施設及び類似施設の職員	198人
	イベントボランティアセミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子ども体験広場」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指した。（日帰り6回）	ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生年代までの若者	93人
	キャンプ活動セミナー	レクリエーションや野外活動を通して、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を学んだ。（日帰り1回＋1泊2日1回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人（30歳未満）	18人
	子どもキャンププロジェクト	子ども対象のキャンプを一から企画し、宿泊プログラムの企画・運営や子どもへの接し方、安全管理などを学び、実際に1泊2日の宿泊キャンプで小学生を対象に企画と運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指した。（日帰り5回＋2泊3日1回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人（30歳未満）	62人
	ユースボランティアセミナー	地域で活動しているジュニア・リーダーや、青少年施設、子ども施設の職員等の社会人（30歳未満）を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図った。（日帰り1回、1泊2日1回）	中学生以上のジュニア・リーダーや子どもと関わりのある又は関わろうとしている学生や社会人（30歳未満）	28人
	コミュニケーションスキルアップセミナー	即興演劇の手法を使ってコミュニケーション能力や表現力の向上をはかる「インプロプログラム」を体験し、人間関係づくりや子どもとの関わり方を学んだ。（日帰り1回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている中学生以上の若者	11人
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	現職教員の社会体験研修を1人（延べ6回）、大学生の社会教育実習を3人（延べ7回）受け入れ、青少年支援・指導に通じた人材の育成を図った。	教職員、学生等	21人

区分	事業名	概 要	対象者	参加者 延べ数
(イ) 青少年 育成のための 実践的調 査研究	活動に役に立つ マニュアル・手 引作成	青少年活動に役立つマニュアル・手引を作成する。 青少年の体験活動を支援する大人向け、 初心者向けのWebページ「わかものまんなか社会へ - 地域参画の事例集-」を作成した。	—	—
	(ウ) 青少年 支援・指導 者、団体等 への支援	青少年に関わる文献・資料・報告書等を整備して、 青少年資料室を効率的に運営する。活動場所等につ いての情報を収集し、青少年支援・指導者及び青少 年関係機関等への情報提供を図った。	—	—
	調査・ アンケート実施	全研修事業の終了時に行っているアンケートから事 業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者 の事後アンケート調査や取材調査により、当課研修 事業で学んだことを、業務でどのように活用してい るかについてまとめ、研修事業実施報告書に記載し 青少年関係機関へ提供した。	—	—
	活動支援	青少年関係機関等からの依頼に応じて、場の提供、 講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導を 随時行った。	青少年関係機関	420人
(エ) 青少年 指導者養成 推進事業	青少年指導者養 成連携・調整(神 奈川県青少年指 導者養成協議会 事業)	青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進を 図るとともに、県・市町村・青少年団体の連携強化 を図った。	協議会関係者	165人
	青少年支援・指 導者活動状況調 査	各機関や団体が把握している青少年支援・指導者の 活動状況について調査した。	県・市町村・青 少年関係団体	—
	青少年支援・指 導者育成事業実 施結果及び計画 の調査	各機関や団体が把握している青少年支援・指導者育 成事業の取り組み状況等について具体的に調査し た。	県・市町村・青 少年関係団体	—
イ 地域活動推進事業				
(7) 子 ども 会大会	子ども会大会	子ども会活動の発展に資することを目的として県子 ども会大会を開催した。(日帰り1回)	子ども会関係 者、一般	2,891人
(イ) 元 気 な 子 ども ・ 若 者 の 地 域 活 動 調 査 事 業	元気な子ども・ 若者の地域活動 調査事業	人間関係の希薄化、地域力の低下、ライフスタイル の変化等に伴う、新たな課題に対応した子ども・若 者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・ 調査し、その成果を広報誌「子ども会」を作成・3 月に発行して広く周知した。また、指導者・育成者、 リーダー層の研修事業等で活用した。	ジュニア、シニ ア・リーダー等 の高校生以上の 若者	30人
(ウ) 地 域 応	地 域 応 援 事 業	地域で行っている青少年活動の活性化を図るため	子ども会指導	250人

区分	事業名	概 要	対象者	参加者 延べ数
援事業 (市町村・ 団体協働事 業)	(市町村・団体 協働事業)	に、団体と協働で研修を実施した。 平塚市ジュニア・リーダーズクラブ研修会 大磯町子ども育成者研修会 ティーンズクリエイション組織委員会 藤沢市青少年指導員協議会全体研修会 座間市放課後子ども教室研修会 神奈川県子ども会連合会指導者養成研修会 玉川大学社会教育士会研修会	者、子ども会役 員、青少年指導 員、ジュニア・ リーダー	
ウ 青少年行政総合推進事業				
(7) 中学生 の主張 in かながわ	中 学 生 の 主 張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や 創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの 主張を正しく理解してもらおう力を身につけることを 目的に、作文コンクールとその発表会を行った。	県内在住又は 在学の中学生	応募者 763人
(4) 子ども・ 若者を理解 するための 講演会	子ども・若者を 理解するための 講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域 や関係機関における取組みの促進を図るため講演会 を開催した。	県民	80人
(ウ) 困難事 例における 専門家の助 言指導	困難事例におけ る専門家の助言 指導(スーパー バイズの実施)	電話あるいは来所相談における困難事例について、 専門家である精神科医による助言指導を実施した。	当センター専門 相談員、NPO 法人等相談担当 者	4回

各事業の内容は次のとおりである。

ア 青少年支援・指導者育成推進事業

(7) 青少年支援・指導者の育成

a 青少年指導員セミナー

テーマ「青少年指導員の役割と青少年との接し方」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	5月26日(日) 厚木シティプラザ	場づくりに活かすインプロワークショップ 講師：鈴木 聡之 氏 (インプロパーク主宰) 黒田 めぐみ 氏 (インプロパーク)	22 人
2	6月1日(土) 小田原合同庁舎	みんなで創る地域の活動 講師：指導者育成課職員	41 人
3	6月9日(日) 平塚合同庁舎	豊かな人間関係を築くグループワーク・トレーニング ～子どもとの関わりに役立てるGWT と 怒りの取扱説明書～ 講師：三好 良子 氏 (日本GWT協会理事長)	49人
4	6月22日(土) 横須賀合同庁舎	アドベンチャー教育とは ～個人のチャレンジを後押しするグループの力～ 講師：山路 歩 氏 (NPO法人 体験学習研究会 代表理事)	34人

b NEAL リーダー養成セミナー

テーマ「安全で楽しい自然体験活動を展開するために必要な基礎的知識や技術の習得」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月9日(土) 10日(日) 足柄ふれあいの村	プログラム体験 「アイスブレイキング、ロープワーク、シェルター作り、 シェルター泊、最乗寺ハイキング、PAゲーム、野外炊事」 講師：二宮 孝 氏、三浦 さなえ 氏、山下 晃平 氏 (NPO法人 体験学習研究会)	16 人
2	11月23日(土) 青少年センター	プログラム体験 「コミュニケーションスキルトレーニング、応急手当、安全講習」 認定試験 講師：二宮 孝 氏、山下 晃平 氏 (NPO法人 体験学習研究会)	15 人

c 子どもの体験活動をすすめる指導者セミナー（水辺の活動編）

テーマ「楽しく安全な水辺の遊び方」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月14日(日) 愛川町半原公民館 (ラビンプラザ) 中津川	プログラム体験 「川での実技講習」 (危険箇所回避、急流救助技術、泳法、ロープの固定) 講義「水辺の活動のリスクマネジメント」 講師：石川 政彦 氏 (イシケンスポーツ社長カヌーイスト・カヌーツアーガイド)	13 人

d 体験学習プログラムセミナー

① テーマ「すぐに役立つアイスブレイキング」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月21日(日) 青少年センター	プログラム体験「アイスブレイキングのアクティビティ体験」 担当：指導者育成課職員	22人
2	7月24日(水) 青少年センター	実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員	14人
3	8月11日(日) プロミティあつぎ	実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員	11人

② テーマ「グループワークの活用法」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月28日(日) 青少年センター	プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員	20人
2	8月14日(水) 青少年センター	プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員	19人

e 人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	8月18日(日) 伊勢原市民文化会館	伊勢原市子連事業「夏の指導者研修会」の講師・進行 指導内容：バルーンアート、ゲームアクティビティ	25人
2	9月7日(土) 大和市スポーツセンター	大和市子連事業「かるた大会」の運営補助 指導内容：KYT、ヤマトン動作、来場者対応	128人
3	10月17日(木) 横浜市立みなと総合高等学校	よこはまユース事業高校内居場所カフェでのバルーンアートワークショップの企画・運営 指導内容：バルーンアート	182人
4	10月26日(土) 27日(日) 厚木市七沢自然ふれあいセンター	綾瀬市子連事業「綾瀬市少年リーダー研修会」の運営補助 指導内容：レクリエーション、野外炊事、キャンプファイヤー	50人
5	11月17日(日) 茅ヶ崎市役所	茅ヶ崎市事業「第1回リーダー教室(秋)」の講師・進行 指導内容：アイスブレイキング、バルーンアート	23人

f リードアップセミナー

テーマ「LEAD UP SEMINAR ～向き不向きよりも『前向き』に！～」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	5月8日(水) 青少年センター	実習「アイスブレイキングのアクティビティ体験」 担当：指導者育成課職員 講義・ワークショップ「子どもたちとかかわる心構え」 講師：小澤 悠 氏 (株式会社NEXCENT 代表)	19人
2	5月21日(火) ～22日(水) 愛川ふれあいの村	実習「アイスブレイキング、コミュニケーションゲーム、 自然体験活動、野外炊事、コッフェルクッキング」 担当：指導者育成課職員	7人
3	5月29日(水) 青少年センター 宮ノ前テラス	施策「かながわ青少年支援・指導者育成指針」の考え方 担当：指導者育成課職員 講義「宮ノマエストロのこれまでとこれから」 講師：高橋 裕子 氏 (NPO法人 宮ノマエストロ 代表)	14人

g アップスキリングプロジェクト

テーマ「若者年代が子ども達を支援するための戦略PR」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	12月19日(木) 青少年センター	講義 登壇者の実践・取材報告とクロストーク、質疑応答 演習 企画づくりワークショップ、交流会 講師：南 太貴 氏 (公益財団法人よこはまユース) 益田 麻衣子 氏 (小田原市教育委員会、神奈川大学) 岩堀 まゆみ 氏 (社会福祉法人地域サポート虹)	9人

h 子ども施設指導員セミナー

① テーマ「子どもが喜ぶバルーンアート」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月25日(火) 鎌倉市玉縄 青少年会館	実習「バルーンアート体験」 講師：犬飼 亜希子 氏 (Balloonconnection)	27人
2	10月18日(金) 小田原合同庁舎		22人

② テーマ「知って納得！発達障害の支援」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月17日(水) 青少年センター	講演「多様なニーズを持つ子どもとの関わり方」 講師：中村 亮介 氏 (株式会社LITALICO)	35人
2	9月25日(水) 横須賀市役所		33人

③ テーマ「子ども×遊びの見守り方」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	9月13日(金) プロミティあつぎ	講義「遊びをテーマに、子どもへの寄り添い方」 実習「子どもへの関わり方に関する講義およびグループワーク」	47人
2	11月5日(火) 青少年センター	講師：関戸 博氏 氏（一般社団法人TOKYO PLAY）（9/13） 幾島 博子 氏（一般社団法人TOKYO PLAY）（11/5）	34人

i イベントボランティアセミナー

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	10月13日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「企画会議①」 担当：指導者育成課職員	10人
2	11月24日(日) 青少年センター	実習「企画会議②」 担当：指導者育成課職員	14人
3	12月15日(日) 青少年センター	実習「企画会議③」 担当：指導者育成課職員	13人
4	1月5日(日) 青少年センター	実習「企画会議④」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	17人
5	1月18日(土) 青少年センター	実習「子どもフェスティバル前日準備・リハーサル」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	19人
6 (事業)	1月19日(日) 青少年センター	実習「子どもフェスティバル」 (ホール司会進行・ステージ発表、体験ブースの運営) 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	20人

j キャンプ活動セミナー

テーマ「KANAGAWA NEXT Teacher's Camp」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	8月24日(土) 青少年センター	プログラム体験「アイスブレイキング」 「コミュニケーションゲーム」	10人
2	8月30日(金) ～31日(土) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	プログラム体験「アイスブレイキング」「コミュニケーションゲーム」 実習「火起こし・野外炊事」「リポートレッキング(悪天候により中止)」 担当：指導者育成課職員	8人

k 子どもキャンププロジェクト

テーマ(活動全体)「大学生向け 企画・運営ボランティア『子どもキャンププロジェクト』」

(宿泊事業)「わくわくキャンプ - 家族と離れて、新しい仲間とチャレンジ！

大自然で遊ぼう！！ - 」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月2日(土) 青少年センター	実習「オリエンテーション」 「アイスブレイキング及び企画ミーティング」	5人

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
		担当：指導者育成課職員	
2	12月22日(日) 青少年センター	実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員	7人
3	1月11日(土) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	施設見学 実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員	8人
4	2月16日(日) 青少年センター	実習「企画ミーティング」 担当：指導者育成課職員	8人
5	2月28日(金) ～3月2日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	実習「子どもキャンプ前日準備・リハーサル」 実習「子どもキャンプ」(プログラムの進行、運営) 担当：指導者育成課職員	29人
6	3月9日(日) 青少年センター	実習「ふりかえり」 担当：指導者育成課職員	5人

1 ユースボランティアセミナー

テーマ(第1回)「ぼくらのオリジナルキャンプ 計画編」

(第2回)「ぼくらのオリジナルキャンプ 実践編」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月16日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「参加者同士のグループワーク(第2回の企画の立案・検討・協議)」 担当：指導者育成課職員	11人
2	7月6日(土) ～7日(日) 川崎市黒川青少年 野外活動センター	実習「アイスブレイキング」「自然体験活動」「グループワーク」 「野外炊事」「キャンプファイヤー」 担当：指導者育成課職員	17人

m コミュニケーションスキルアップセミナー

テーマ「インプロ・ゲームワークショップ」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	8月20日(火) 青少年センター	講義・実習「インプロ・シンキングワークショップ」 インプロ・ゲームのアクティビティ体験 講師：峰松 佳代 氏、中村 太郎 氏 (株式会社インプロジャパン)	11人

n インターンシップ、社会体験研修受入れ等

現職教員の5年経験者研修の一部を構成する、社会体験研修として1人(延べ6回)を受け入れた。また、県庁インターンシップとして3人(延べ7回)を受け入れた。

(イ) 青少年育成のための実践的調査研究

a 活動に役に立つマニュアル・手引作成

Web ページ「わかものまんなか社会へ - 地域参画の事例集 -」の掲載

内 容 : 青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けの Web ページ

配布先 : Web ページより PDF ファイルをダウンロード可

(ウ) 青少年支援・指導者、団体等への支援

a 青少年資料室の運営

青少年関係資料の整理・収集をし、青少年資料室にて提供した。

b 調査・アンケート実施

研修終了時に参加者を対象にアンケートを行い、その結果を含め事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供した。

c 活動支援

場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導(随時)を随時行なった。

(令和6年度実績: 電話等 51 件、来所相談等 4 件、職員派遣 6 件(15 人)、講師紹介 14 件)

(イ) 青少年指導者養成推進事業

a 青少年指導者養成連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会事業)

(a) 総会

回数	実施日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	5月28日(火)	○県・市町村・青少年関係団体等の青少年支援・指導者育成事業について ○令和5年度青少年指導者養成協議会事業実施結果について ○令和6年度青少年指導者養成協議会事業計画(案)について ○講演「子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実をめざして」 講師: 藤原 一成 氏 (独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家 所長)	27人

(b) 常任委員会

回数	実施日/場所	主な内容	参加人数
1	4月11日(木) 青少年センター	○令和6年度総会について ○令和6年度専門部会について ○総会後の講演会について 他	9人
2	10月3日(木) 青少年センター	○令和6年度専門部会について ○令和6年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について ○第2回青少年支援・指導者育成事業担当者会議について ○第3回常任委員会について 他	10人

回数	実施日／場所	主な内容	参加人数
3	2月6日（木） 青少年センター	○令和6年度専門部会成果物について ○令和6年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について 他	11人

(c) 専門部会

回数	実施日／場所	主な内容	参加人数
1	7月5日（金） 青少年センター	○テーマと内容について ○形式と公開方法について ○今後の予定	7人
2	9月5日（木） 青少年センター	○進め方について ○役割分担 ○具体的な内容について	7人
3	12月19日（木） 青少年センター	○事例発表 ○クロストークと質疑応答 ○その他	15人
4	2月14日（金） 青少年センター	○進捗状況の確認、原案の検討 ○成果物の広報の検討 ○その他	7人

(d) 青少年支援・指導者育成事業担当者会議

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	4月17日（水） 小田原合同庁舎	○令和5年度事業実施結果及び令和6年度事業実施計画について ○専門部会成果物「子どもと楽しむレシビミュージアム」の活用について ○情報交換	14人
	4月24日（水） 厚木シティプラザ		10人
	4月26日（金） 青少年センター		13人
	4月30日（火） 平塚合同庁舎		14人
2	11月20日（水） 青少年センター	○講演「効果的な広報の方法とその実践事例について」 講師：十鳥 梓 氏 竹本 吉輝 氏 （（公財）藤沢市みらい創造財団） ○情報交換	21人

b 青少年支援・指導者活動状況、青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

(a) 青少年支援・指導者活動状況の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者の活動状況を調査した。

（調査：2月）

(b) 青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者育成事業について、令和6年度の実施結果を調査した。(調査：2月)

イ 地域活動推進事業

(7) 子ども会大会（青少年センター子どもフェスティバル）

県内の子ども会相互の交流と連帯を進め、これからの子ども会活動の発展と充実を図った。

日 時 : 1月19日(日)

会 場 : 青少年センター ホール (子どもフェスティバルは全館で実施)

(4) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

子ども会情報誌の編集会議

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月20日(木) 青少年センター	企画「編集会議①」 担当：指導者育成課職員	4人
2	10月9日(水) 青少年センター	企画「編集会議②」 担当：指導者育成課職員	5人
3	11月27日(水) 青少年センター	企画「編集会議③」 担当：指導者育成課職員	3人
4	1月27日(水) 青少年センター	企画「編集会議④」 担当：指導者育成課職員	4人

子ども会情報誌の取材活動

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	10月26日(土) 横浜市青少年育成 センター	神奈川県子ども会コミュニティゲーム大会 e s p o r t sを取り入れた大会の取材 担当：指導者育成課職員、編集委員	24人

(9) 地域応援事業（市町村・団体協働事業）

a 平塚市ジュニア・リーダーズクラブ研修会

※平塚市青少年課との共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	4月27日(土) 平塚市青少年会館	ジュニア・リーダーズクラブ活動の基本的な技術習得 講師：指導者育成課職員他	27人
2	5月18日(土) 平塚市青少年会館		21人
3	6月15日(土) 平塚市びわ青少年の家		24人
4	11月16日(土) 平塚市青少年会館		10人

b 大磯町子ども育成者研修会

※大磯町との共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月22日(土) 大磯町保健センター	子どもとのかかわり方、指導者としての心構え 講師：指導者育成課職員	8人

c ティーンズクリエイション組織委員会

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	10月12日(土) さかえ次世代交流 ステーション	チームビルディングのアクティビティ体験、及び事業企画の立案・進 行の助言 講師：指導者育成課職員	17人

d 藤沢市青少年指導員協議会全体研修会

※藤沢市との共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月21日(木) 藤沢市秩父宮 記念体育館	青少年支援の活性化に向けたアクティビティ体験 講師：指導者育成課職員	95人

e 座間市放課後子ども教室研修会

※座間市との共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月25日(月) 座間市立青少年 センター	小学生との関わり方に係る講義及び大人との コミュニケーション体験 講師：指導者育成課職員	21人

f 神奈川県子ども会連合会指導者養成研修会「レクリエーション研修会」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	12月1日(日) 大和市保健福祉 センター	～楽しみながら実践力UP！レクリエーション指導のコツ～ 講師：指導者育成課職員	15人

g 玉川大学社会教育士会研修会

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	12月14日(土) 青少年センター	青少年支援及び地域活動の活性化に向けたプログラム体験 講師：指導者育成課職員	12人

ウ 青少年行政総合推進事業

(7) 「中学生の主張 in かながわ」

神奈川県に在住または在学する中学生が、日常生活の中で考えていることを作文にして発表することを通して、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけ、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を伸ばすことを目的とし、優秀作品の発表大会及び表彰式を開催した。

実施日：9月29日(日)

会場：青少年センター スタジオHIKARI

応募者数：763人

発表者数：7人

発表テーマ：

- (1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
- (2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

(4) 子ども・若者を理解するための講演会

子ども・若者が有する悩みや背景をテーマに、講演会等を開催した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1月19日(日) 青少年センター 紅葉坂ホール	「やってみたい」がいっぱいあるところ～「子ども夢パーク」の取り組みから～ 講師：西野 博之 氏 (認定NPO法人フリースペースたまりば理事長)	80人

(5) 困難事例における専門家の助言指導（スーパーバイズの実施）

電話又は来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を4回実施した。

実施日：6月27日(木)、8月20日(火)、10月8日(火)、1月28日(火)

3) ひきこもり、不登校や非行等への対応

不登校・ひきこもり・非行などで悩む子ども・若者についての相談、そのような子ども・若者を地域で様々な形でサポートするNPO等への支援、青少年の自立支援、フリースペース等を運営するNPO等が実施する相談活動に対する補助、さらに講演会やセミナーを通じて子ども・若者が有する問題への理解を啓発するなどの事業を行うとともに、ひきこもり支援における市町村機能強化事業に取り組んだ。

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
ア ひきこもり地域支援センター事業（子ども・若者総合相談事業を含む）				
(7) 不登校・ひきこもり等相談関係事業	かながわ子ども・若者総合相談センター、神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター」と、厚生労働省の「ひきこもり支援センター設置運営事業」により設置した「神奈川県ひきこもり地域支援センター」を一体として運営し、子ども・若者や家族等からの多様な相談（電話・面接）に対応し、本人の社会参加の促進を図った。	県民	延2,630件 電話相談2,414件 面接相談216件
	県西部地域相談事業（県西部青少年サポート相談室（県西部ひきこもり相談窓口））	NPOと協働で県西部地域及びその他県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延646件 電話相談558件 面接相談88件
	地域相談強化事業（地域青少年相談窓口）	NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延87件 電話相談24件 面接相談63件
	事例検討	週1回、相談員が全員で相談ケースの検討を行った。	当センター 専門相談員、 NPO法人 等相談担当者	毎週1回
	スーパーバイザーによる事例検討・相談員個別相談（SV）	複雑、困難な相談ケースについて、臨床心理士、精神科医等の専門職を加えた検討会を実施した。 また、臨床心理士による相談員との個別相談（SV）を実施した。	当センター 専門相談員、 NPO法人 等相談担当者	臨床心理士 年4回 （うち2回は県西部青少年サポート相談室） 精神科医 年4回 臨床心理士によるSV 相談員延5人

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	職員研修	電話相談が終了した後の1時間で、ミニ研修と称して相談業務に必要と思われる関連する事業について講師を呼んで研修を実施した。	青少年サポート課職員	3回実施 延23人
	相談員研修	県内で子ども・若者の相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施した。	行政職員・NPO職員等	3回実施 延147人
(イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業	NPO等の活動に必要な場や機器の提供(NPO支援スペース)	ひきこもり、不登校、非行等で悩む子ども・若者や家族のサポートに取り組むNPOや家族会等への活動支援として、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供した。	登録されている県内NPO等支援団体	延259団体 延1,706人
	NPO運営支援情報の提供	NPO相談・支援アドバイザーを配置し、NPOの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行った。	NPO等支援団体	相談件数 1件
	フリ・フリ・フェスタ	ひきこもり・不登校支援を行う団体による、実行委員会形式の交流イベント。 ひきこもり、不登校についての理解の普及、啓発を促進した。	NPO等支援団体、県民	延1,798人
(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発・研究事業	ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会、家族セミナー	ひきこもりへの正しい理解・啓発を目的としたフォーラム・講演会、家族セミナー等を主催、または市町村と共催して開催した。	ひきこもりに関心のある県民	フォーラム・講演会 3回開催 延98人 家族セミナー 4回開催 延83人
	相談窓口紹介カード作成・配布	県内の全児童・生徒等にかがわ子ども・若者総合相談センターや県総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布した。	県内の小・中・高校・特別支援学校に在籍する全児童・生徒等	980,000枚 (発行枚数)
	相談窓口案内リーフレット等の配布	相談窓口の案内リーフレットを作成し、配布した。	小・中・高校、相談機関等	28,000枚 (作成枚数)
	関連情報の提供	ひきこもり、不登校、非行等に悩む方々やそのサポート活動を行うNPO等に、相談や団体の活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供した。	県民、NPO等支援団体	—
(エ) 地域理解促進事業	ひきこもり等地域理解促進事業	ひきこもり等の問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の講師費用を支援した。	NPO等支援団体	8団体

区分	事業名	概 要	対象者	参加者数
イ ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業				
(7) 多職種支援チーム	連携会議、ケース検討会議の実施及び助言	精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士による多職種支援チームが、市町村等が対応している事案を連携会議、ケース検討会議により検討し、助言等を行う。	市町村等	精神科医 24回 弁護士 12回
(イ) 市町村等支援員	市町村が実施する支援等に関する相談支援	市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応等を行った。 ※ひきこもり支援市町村連携会議での対応含む。	市町村等	ひきこもり支援市町村連携会議 4回
(ウ) 訪問相談支援員	訪問支援	精神保健福祉士を配置し、ひきこもりの長期化や、高齢化等の困難ケースへの対応を含めた訪問支援を強化した。ひきこもり支援のノウハウが乏しい市町村等職員に同行し、アウトリーチ支援を行った。	市町村等	アウトリーチの件数 17件
(エ) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修	NPOスタッフ研修会	NPO等の日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を開催した。	NPO等支援団体	2回開催 延31人
	不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修	不登校・ひきこもり等に悩む子ども・若者の支援に関する基礎知識を学び、グループワーク等で意見交換を行う等、NPO等で子ども・若者を支える人材の育成を促す。	支援活動に関心のある県民	2回開催 延40人
	市町村向けピアサポーター研修	市町村と連携し、各地域にひきこもりピアサポーターを養成するための研修を行う。 (令和6年度は市町村からの開催希望がなく、実施せず。)	ひきこもり当事者、行政職員	—
	市町村ひきこもり支援新任担当者勉強会	新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象として勉強会を行った。	市町村等	10市町22人
(オ) ひきこもりサポート事業	かながわbeフレンド（ひきこもり相談補助員）事業	ひきこもり当事者等が、一定の研修を受講した後、専門相談員及びNPO相談・支援アドバイザーの助言・指導のもと、面接に同席し、ひきこもりに悩む家族等の相談を補助する。また、ひきこもり当事者のための居場所のスタッフとして活動するほか、地域で開催する家族セミナー等において体験談を語るなどの啓発活動を実施する。	NPO団体等から推薦を受け、研修を修了した者、かながわbeフレンド経験者	12人に委嘱 (研修4回)
	ひきこもり当事者のための居場所事業	市町村と連携し、地域巡回型のひきこもり当事者の居場所を月2回開催する。	ひきこもり当事者	18回開催 延157人
	ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い	ひきこもり当事者の家族等を対象とし、同じような立場の参加者同士で近況を語り合ったり、情報交換したりする場を市町村と連携し、開催した。	ひきこもり当事者の家族	3回開催 延38人

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
(カ) 社会参加支援事業	コミュニケーション講座	主に県や市町村、NPOの居場所等に参加している方を対象に、居場所のほかにも外出のきっかけとなるよう、セミナー型の居場所としてコミュニケーション講座を開催した。	居場所等に参加している方	3回開催 延38人
	有償ボランティア	主に県や市町村、NPOの居場所等に参加している方を対象に、人の役に立つ経験とその対価を得る経験を積むための有償ボランティアの機会を提供した。	居場所等に参加している方	4回開催 延13名
(キ) 支援調整業務	支援調整業務	ひきこもり支援市町村連携会議の実施等、地域支援センター市町村等支援機能強化事業全般における支援調整を行った。	市町村、多職種支援チーム、市町村等支援員、訪問相談支援員、かながわbeフレンド、NPO相談・支援アドバイザー	会議4回実施
ウ 舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業				
	舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業	不登校、ひきこもり等困難を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施した。	ひきこもり当事者、市町村等	4回実施 延45人
エ フリースペース等相談事業費補助				
	フリースペース等相談事業費補助	地域でフリースクール等を展開し、ひきこもり、不登校等に関する相談を受けるNPO等の活動を促進するため、相談事業を実施するNPO等支援団体に対して、補助金を交付した。	フリースペース等を運営し、相談事業を行うNPO等	10団体

各事業の内容は次のとおりである。

ア ひきこもり地域支援センター事業

(ア) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

a かながわ子ども・若者総合相談センター、神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営

かながわ子ども・若者総合相談センターと神奈川県ひきこもり地域支援センターを一体として運営し、青少年センター及びNPOと協働で開設した県西部青少年サポート相談室（県西部ひきこもり相談窓口）及び神奈川県地域青少年相談窓口において、子どもや若者、家族の相談に応じた。

○ 電話相談：延べ2,996件

(うち県西部青少年サポート相談室558件、神奈川県地域青少年相談窓口24件)

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	1,192	63	11	1,266	42.3%
父	323	320	0	643	21.5%
母	809	122	10	941	31.4%
その他親族	62	32	2	96	3.2%
知人	10	2	0	12	0.4%
関係機関	11	14	1	26	0.9%
その他	6	0	0	6	0.2%
不明	1	5	0	6	0.2%
計	2,414	558	24	2,996	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	302	93	14	409	13.7%
不登校	55	36	0	91	3.0%
非行	7	125	0	132	4.4%
精神保健	412	32	4	448	15.0%
就労関係	139	20	0	159	5.3%
学校関係	190	10	0	200	6.7%
対人関係	164	4	0	168	5.6%
家庭問題	696	6	4	706	23.6%
発達障害等	23	12	0	35	1.2%
児童福祉	5	1	0	6	0.2%
犯罪被害	9	0	0	9	0.3%
健康問題	85	0	0	85	2.8%
生活問題	280	212	0	492	16.4%
LGBT	1	0	0	1	0.0%
その他	46	7	2	55	10.8%
計	2,414	558	24	2,996	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小学生	35	11	0	46	1.5%
中学生	58	21	0	79	2.6%
高校生	218	31	0	249	8.3%
専門学校生	19	5	0	24	0.8%
大学生	141	3	5	149	5.0%
有職	934	248	2	1184	39.5%
無職	649	106	11	766	25.6%
その他	169	6	1	176	5.9%
不明	191	127	5	323	10.8%
計	2,414	558	24	2,996	

○ 面接相談：

延べ367件（うち県西部青少年サポート相談室88件、神奈川県地域青少年相談窓口63件）

実 131件（うち県西部青少年サポート相談室58件、神奈川県地域青少年相談窓口33件）

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	91	18	15	124	33.8%
父	22	6	4	32	8.7%
母	61	34	38	133	36.2%
父母等	41	7	5	53	14.4%
その他親族	1	23	1	25	6.8%
知人	0	0	0	0	0.0%
関係機関	0	0	0	0	0.0%
計	216	88	63	367	100.0%

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	113	24	44	181	49.3%
不登校	29	24	2	55	15.0%
非行	0	0	0	0	0.0%
精神保健	1	4	0	5	1.4%
就労関係	21	4	3	28	7.6%
学校関係	14	2	4	20	5.4%
対人関係	13	0	0	13	3.5%
家庭問題	25	1	5	31	8.4%
発達障害等	0	0	3	3	0.8%
児童福祉	0	0	0	0	0.0%
犯罪被害	0	0	0	0	0.0%
健康問題	0	0	0	0	0.0%
生活問題	0	29	2	31	8.4%
LGBT	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	216	88	63	367	100.0%

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小学生	0	4	1	5	1.4%
中学生	2	11	0	13	3.5%
高校生	26	20	1	47	12.8%
専門学校生	0	4	0	4	1.1%
大学生	18	1	6	25	6.8%
有職	23	24	6	53	14.4%
無職	147	24	49	220	59.9%
計	216	88	63	367	100.0%

b 県西部地域相談事業（県西部青少年サポート相談室（県西部ひきこもり相談窓口））

県西部における相談の利便性を確保するため、NPOと協働して小田原市内に県西部青少年サポート相談室（県西部ひきこもり相談窓口）を開設した。

c 地域相談強化事業（地域青少年相談窓口）

県域における相談の利便性を確保するため、NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、横須賀三浦地域（葉山町内）及び湘南地域（寒川町内）、県央地域（厚木市内）に地域青少年相談窓口を開設した。

d 事例検討

相談事例の共有と適切な支援方法を検討するために、週に1回定例の検討会に加え、スーパーバイザーによる事例検討会を開催し、助言を受けた。

e 相談職員向けスーパーバイズの実施

臨床心理士によるスーパーバイズを実施した。

- ・ 2月5日（木） 3人実施
- ・ 2月21日（金） 2人実施

f 職員研修

青少年サポート課の業務に必要な知識を習得するため、ミニ講座として電話相談業務が終わった16時から17時で研修を実施した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
10月10日（木） 青少年センター NPO活動室1	「児童相談所の虐待対応の基礎知識」 講師：折谷 妙子 専門福祉司 （神奈川県中央児童相談所 虐待対策課）	9人
11月7日（木） 青少年センター NPO活動室1	「生活保護制度の基礎知識について」 講師：高松 大樹 専門福祉司 （小田原保健福祉事務所 生活福祉課）	7人
1月30日（木） 青少年センター NPO活動室1	「相談記録の書き方について」 講師：佐藤 隆司 氏 （千葉明德短期大学保育創造学科 教授）	7人

g 相談員研修

県内で子ども・若者への相談支援を行う公的機関職員及び民間団体スタッフを対象に、相談技術の向上と子ども・若者にかかる問題の理解に焦点をあてた研修を実施した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
5月31日（金） 青少年センター 研修室1	「相談支援の基礎」～本人・家族の本来の力がふくらむ関わりを目指して～ 講師：福井 里江 氏 （東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座臨床心理学分野 教授）	49人
8月1日（木） 青少年センター 研修室1	「動機づけ面接」 ～「変わりたい」から「変わりたい」への伴走～ 講師：加濃 正人 氏 （医療法人社団祐和会大石クリニック精神科医、公認心理師、動機づけ面接トレーナーネットワークMINTメンバー） 三瓶 舞紀子 氏 （日本体育大学体育学部健康学科准教授、保健師、看護師、公認心理師）	50人
12月20日（金） 青少年センター 研修室1＋オンライン	「カスタマーハラスメントの現状と対策」 ～理不尽なクレームに立ち向かうには～ 講師：池内 裕美 氏 （関西大学社会学部心理学専攻 教授）	48人 （会場18人 オンライン 30人）

(イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業

a NPOの活動に必要な場や機器の提供（NPO支援スペース）

会合や諸活動等に利用できる「活動室」、予約なしで打ち合わせ等が行える「オープンスペース」、軽印刷機や紙折り機等が使用できる「ワーキングコーナー」や関係情報を閲覧できる「情報コーナ

一」等を提供した。

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

	活 動 室	交流サロン・オープン活動室	ワーキング コ ー ナ ー	情報コーナー・ オープンスペース	研 修 室	計
団 体 数	211	2	39	6	1	259団体
人 数	1,593	5	42	16	50	1,706人

b NPO運営支援情報の提供

NPOの運営や財務に関して、NPOの立ち上げや運営等の経験があるNPO相談・支援アドバイザーが相談を受ける。

・相談件数 1件

c フリ・フリ・フェスタ

ひきこもり・不登校支援を行う団体による、実行委員会形式(事務局：青少年センター)の交流イベント。各団体を利用している当事者、保護者、支援者、関係者等が、主体的に参加し、楽しみながら作り上げており、多くの人に支援団体の活動を知ってもらうとともに、支援を必要としている人が支援団体とつながる機会を提供するほか、団体や機関の交流や情報交換を行った。

(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発・研究事業

a ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会、家族セミナー

ひきこもりへの正しい理解・啓発を目的としたフォーラム・講演会、家族セミナー等を市町村と連携して開催した。

(a) ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会

ひきこもりへの理解を深めるため、市町村と連携し、県民等を対象にひきこもりをテーマとして経験者・家族・支援者等を講師に招きフォーラム・講演会を開催した。

実施日等	内 容	参加人数
8月31日(土) えびなこどもセンター (海老名市主催)	「ひきこもりの理解と支援」 ※悪天候のため中止 長谷川 俊雄 氏 (白梅学園大学名誉教授、social work lab MIRAI代表、 NPO法人つながる会 代表理事)	
11月22日(金) 伊勢原市立中央公民館 (伊勢原市主催)	「子ども・若者のひきこもりを知る～ひきこもり、行きしぶり、生きづらさ、本人の言動には必ず本人なりの理由がある～」 講師：上田 理香 氏 (NPO法人楽の会リーラ 理事)	57人
2月14日(金) シンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館) (寒川町主催)	「青少年に関わる相談内容の移り変わりとその対応方法について」 講師：青少年センター青少年サポート課職員	13人
2月24日(月) 鎌倉市福祉センター (鎌倉市主催)	「令和6年度ひきこもり講演会～ひきこもりとお金の話～」 講師：浜田 裕也 氏 (社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー)	28人

(b) ひきこもりを考える家族セミナー

市町村等との協働により、ひきこもりに関する知識・情報を提供し、家族の焦燥感の軽減や、当事者への関わり方の変化を期待するため、家族セミナーを開催した。

実施日等	内 容	参加人数
9月27日（金） おだわら総合医療福祉会館 （小田原市社会福祉協議会 主催）	「ひきこもり家族学習会・交流会」 講師：和田 正宏 氏（NPO相談・支援アドバイザー） かながわbeフレンド2人	9人
11月19日（火） 大和市地域医療センター （大和市主催）	「こもりびと家族の集い」 講師：守田 洋 氏（NPO相談・支援アドバイザー） かながわbeフレンド2人	20人
12月1日（日） 藤沢市役所 （青少年センター主催）	「今だから語れる 当時のこと、これからのこと」 講師：末木 亮史 氏（NPO相談・支援アドバイザー） かながわbeフレンド2人	44人
1月29日（水） 鎌倉市福祉センター （鎌倉市主催）	「ひきこもり相談窓口ご家族のつどい」 講師：守田 洋 氏（NPO相談・支援アドバイザー） かながわbeフレンド2人	10人

b 相談窓口紹介カード作成・配布

県内の全児童・生徒等に相談や支援に係る情報提供を行った。

発行部数：980,000部

c ひきこもり相談窓口案内リーフレット等の配布

研修の参加者等に、相談窓口案内を紹介するリーフレットを作成し、研修の参加者等に配布した。

作成枚数：28,000枚

d 関連情報の提供

ひきこもりや不登校等の問題に取り組む県内NPO等の情報や、ひきこもり等関連の講演会等の情報を、青少年センターの相談窓口、情報コーナー、ホームページ等により紹介、提供した。

(I) 地域理解促進事業

ひきこもり、不登校等に悩む子ども・若者を地域で支える団体の活性化や地域におけるひきこもり問題への理解を促進するため、団体が開催する講座等を青少年センターが共催し、併せて講師等の謝金を負担して、団体活動を支援した。

事業趣旨 (事業区分)	実施団体名	内 容	参加人数
家族会等 地域 団体活動促進	横浜不登校親の会ネ ットワーク（はま親 ねっと）	9月15日（日） 「不登校の子が新しい一歩を踏み出すとき」 講師：石井 志昂 氏（元NPO法人 全国不登校新聞 社 代表理事、不登校ジャーナリスト） 会場：横浜市民協働推進センター	66人

	つぼみの会（ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの会）	10月9日（水） 『時代の変化の中でどう対応したらよいか』 ～新たな視点でのひきこもりを考える～ 講師：明石 紀久男 氏（NPO 法人遊悠楽舎 代表理事、社会福祉法人きしろ社会事業会 理事） 会場：藤沢市地域福祉活動センター	40 人
	すばるかたつむり	11月28日（木） 「あらためて発達障がい～実力を発揮するために～」 講師：渡辺 真樹 氏（相談室アダージョ主宰、フリースペースいろえんぴつ代表） 会場：ひらつか市民活動センター	32 人
	KHJ 横浜ばらの会	2月8日（土） 「オープンダイアログ～家族ができる対話の工夫～ひきこもり編」 講師：森川 すいめい 氏（ゆうりんクリニック精神科医、鍼灸師、オープンダイアログトレーナー、NPO 法人 TENOHASI 理事） 会場：横浜市青少年育成センター	59 人
ひきこもり等 地域支援団体 活動促進	NPO 法人教育ステーション	7月27日（土） 「親カフェ」 講師：西岡 秀樹 氏（公認心理師、精神保健福祉士） 会場：NPO 法人 教育ステーション	8 人
	NPO 法人ワーコレたんぼぼひろば	11月15日（金） 「学校を休みがちな子どもの理解と支援～発達の視点から～」 講師：長野 佳子 氏（NPO 法人ネスト・ジャパン 支援スタッフ） 会場：たんぼぼはうす	15 人
	NPO 法人フリースクール鈴蘭学園	11月16日（土） 「ひきこもりからの回復 ～人との関わりの大切さを考える～」 講師：黒崎 栄海 氏（NPO 法人文化学習協同ネットワーク相模原エリア事業部 西門ホッとスペースコーレ 若者支援スタッフ、キャリアコンサルタント） 会場：相模原市立大野北公民館	10 人
	NPO 法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ	2月8日（土） 「たんぼぼ子育て講演会 学校に行けない子どもの『心のことば』を聞いて！」 講師：久保 敬 氏（NPO 法人「School Voice Project」理事、近畿大学非常勤講師、一般社団法人ひと・こと・つむぐ 理事） 会場：鶴見中央地域ケアプラザ	55 人

イ ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業

(7) 多職種支援チーム

精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言を行った。

- ・精神科医による検討会 24回
- ・弁護士による検討会 12回

(4) 市町村等支援員

市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応、ひきこもり当事者のための居場所等を行った。

- ・市町村や関係機関などの訪問支援等 3回
- ・県内の既設の当事者会や親の会に係る情報提供
- ・ひきこもり支援市町村連携会議 4回
- ・当事者の居場所の企画・運営に係る助言
- ・近隣自治体間の連携に係る助言
- ・職員向けの研修や研さん機会に係る情報提供 他

(7) 訪問相談支援員

ひきこもりの長期化やひきこもり当事者、ひきこもり当事者を支える家族の高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を行った。

- ・アウトリーチ（自宅訪問のほか、家族会への参加や関係機関への同行等）17件

(I) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修

a NPOスタッフ研修会

不登校・ひきこもり等の青少年を支援するNPO等で活動するスタッフ等やボランティアが日常の活動や組織運営に役立つ知識や技能を修得し、日ごろの活動内容や悩み等を話し合い、情報交換や交流する機会としての研修会を開催した。

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月25日（火） 県立青少年センター	「アイスブレイク体験・交流会」 講師：青少年センター 指導者育成課職員	14人
2	1月29日（水） 県立青少年センター	講義「今日から使える“アサーション”」・交流会 講師：菅 瑠夏 氏（おおるりカウンセリングルーム代表、公認心理師、臨床心理士）	17人

b 不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修

ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体で活動してみたいという人や、既に活動等を始めているが、子ども・若者への理解を深めたいという人を対象に、ひきこもり・不登校の基礎知識や、困難を有する若者への理解について学び、県内で活動する団体の取組や理念などを知り、ボランティアへの意欲を高める研修を実施した。

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	1日目 8月6日（火） 青少年センター 研修室2	① ひきこもり・不登校概論 講師：福井 里江 氏 （東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座臨床心理学分野 教授） ② 困難を有する子ども・若者への理解 講師：島田 徳隆 氏 （認定NPO法人アンガージュマン・よこすか 理事長） ③ 当事者の気持ちへの理解 講師：かながわbeフレンド、青少年センター青少年サポート課職員	17人
	2日目 8月27日（火） 青少年センター 研修室2	④ 各団体の活動紹介 ・NPO法人楠の木学園 ・NPO法人ぜんしん ・NPO法人フリースクール鈴蘭学園 ⑤ グループワーク・発表	14人
フ ォ ロ ー ア ッ プ	2月7日（金） 青少年センター フリースペースえん（認 定NPO法人フリースペース たまりば）	施設・団体説明、施設見学、講義、グループワーク 講師：千葉 志門 氏 （認定NPO法人フリースペースたまりば、川崎市子ども夢パーク副所長）	9人

c 市町村ひきこもり支援新任担当者勉強会

市町村で新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象として勉強会を行った。

実施日等	内 容	参加人数	
① 5月15日（水） ② 5月16日（木） ③ 5月24日（金）	・ひきこもりに関する基礎知識 ・県ひきこもり地域支援センターの事業説明 ・県ひきこもり地域支援センターにおける相談業務の見学 ・ひきこもり疑似ケースに係る模擬面接 ・参加者意見交換	① 6市7人 ② 4市町8人 ③ 6市町7人	合計 10市町 22人

場所：青少年センター活動室1

※1市から複数参加あり

(オ) ひきこもりサポート事業

a かながわbeフレンド（ひきこもり相談補助員）事業

かながわ子ども・若者総合相談センターのNPO相談・支援アドバイザーの所属する団体等より推薦を受け、養成研修を受講した12人を、かながわbeフレンドとして委嘱した。

面接相談における相談補助活動や、ひきこもりを考える家族セミナー等での講演のほか、ひきこもり当事者のための居場所事業において、スタッフとして活動を行った。

(a) 打合せ及び研修

回数	実施日／場所	主な内容・講師	参加人数
1	5月22日（水） 青少年センター 研修室1	第1回打合せ及び研修 ・ かながわbeフレンド、NPO相談・支援アドバイザー、職員の自己紹介 ・ 令和6年度ひきこもり地域支援センター市町村等支援強化機能事業について ・ 研修 『みんなで学ぶピアサポート』 講師 割田 大悟 氏（ひきこもり当事者グループひき桜代表）	10人
2	9月24日（火） 青少年センター 研修室1	第2回打合せ及び研修 ・ 令和6年度ひきこもり地域支援センター市町村等支援強化機能事業についての進捗報告 ・ 第1回研修振り返り ・ 研修 『インタビューを受けて自身の引きこもり経験を語る』	10人
3	12月6日（金） 青少年センター 研修室1	第3回打合せ及び研修 ・ 令和6年度 be フレンドの活動、居場所や家族会について ・ 第2回研修の振り返り ・ 活動状況報告 ・ 研修 『動機づけ面接からコミュニケーションについて知る』 動機づけ面接をベースにコミュニケーションに関する基礎的な知識を得て、相手を知るための簡単なコミュニケーションスキルを身につける。	8人
4	3月14日（金） 青少年センター 研修室1・2	第4回打合せ ・ 令和6年度beフレンドの活動、居場所や家族セミナーについて ・ 第3回beフレンド研修振り返り ・ 市町村等共催事業の報告 参加したbeフレンドから報告 ・ beフレンドへの面接 ・ 研修 『動画視聴』 「ひきこもり VOICESTATION」 から 「経験者として居場所づくりを展開、今、必要な支援とは？」	12人

(b) 相談補助

相談者の希望に応じて、相談員、NPO相談・支援アドバイザー同席のもと面接相談に入り、自身の体験などを相談者に伝えることにより、ひきこもりに対して家族が理解を深め、当事者への対応について考えるための一助とした。（令和6年度は希望なし）

(c) ひきこもりを考える家族セミナー

ひきこもり当事者の家族等を対象に、自身の経験を語るほか意見交換などを行った。

・ 4回 延べ8人参加

(d) ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会

ひきこもりへの理解を深めるため、県民等を対象に、自身の経験を語る講演会を行った。

(令和6年度は派遣なし。)

(e) ひきこもり当事者のための居場所スタッフ

ひきこもり当事者のための居場所の開催に際し、ひきこもり経験のあるスタッフとして運営に参加した。

・ 18回 延べ39人参加

(f) ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い

ひきこもり当事者の家族のための会の開催に際し、ひきこもり経験のあるスタッフとして運営に参加した。

・ 3回 延べ3人参加

(g) 市町村主催の居場所への be フレンドの派遣

実施日／場所	内容	参加人数
7月4日(木) おだわらいノベーション ラボ (小田原市主催)	ひきこもり当事者の居場所「ふらっとプラット」	2人

b ひきこもり当事者のための居場所事業

ひきこもり当事者のための居場所を市町村巡回型で実施し、ひきこもり当事者の外出の機会を提供するとともに、市町村にそのノウハウを提供した。また、孤独・孤立を感じる女性を対象に、前半は作品作りを後半はグループトークを行う居場所を開催した。

実施日	開催市町村	実施場所	参加人数
4月24日(水)	横浜市	青少年センター	9人
5月29日(水)	横浜市	青少年センター	11人
6月7日(金)	海老名市	海老名市立総合福祉会館	17人
6月28日(金)	葉山町	葉山町社会福祉協議会	0人
7月24日(水)	松田町	松田町生涯学習センター	11人
8月9日(金) (女性対象)	横須賀市	ウェルシティ市民プラザ	6人

8月23日（金）	厚木市	厚木シティプラザ	15人
9月4日（水）	伊勢原市	伊勢原市中央公民館	10人
10月15日（火）	綾瀬市	綾瀬市保健福祉プラザ	5人
10月23日（水）	逗子市	逗子市福祉会館	2人
11月13日（水） （女性対象）	大和市	大和市文化創造拠点シリウス	15人
12月3日（火）	秦野市	秦野市保健福祉センター	6人
12月18日（水）	海老名市	海老名市立総合福祉会館	16人
1月17日（金）	平塚市	平塚市青少年会館	3人
1月22日（水）	茅ヶ崎市	茅ヶ崎市コミュニティホール	6人
2月12日（水） （星空観察）	横浜市	青少年センター	11人
2月19日（水）	南足柄市	南足柄市りんどう会館	8人
3月5日（水）	横浜市	青少年センター	6人

c ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い

ひきこもり当事者の家族等を対象とし、同じような立場の参加者同士で近況を語り合ったり、情報交換したりする場を開催した。

実施日	開催市町村	実施場所	参加人数
7月11日（木）	横浜市	青少年センター	13人
9月20日（金）	海老名市	海老名市立総合福祉会館	17人
11月26日（火）	南足柄市	南足柄市りんどう会館	8人

(カ) 社会参加支援事業

a コミュニケーション講座

主に県や市町村、NPOの居場所等に参加している方を対象に、居場所のほかにも外出のきっかけとなるよう、セミナー型の居場所としてコミュニケーション講座を開催した。

回	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
第1回	9月11日（水） アミューあつぎ	テーマ：お願い上手・断り上手 講師：吉田 穂波 氏（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授）	9人
第2回	10月12日（土） 大和市文化創造拠点シリウス	テーマ：受止め上手・「ととのう」上手 講師：菅 瑠夏 氏（おおるりカウンセリンググループ代表、公認心理師、臨床心理士）	12人

第3回	11月6日（水） 海老名市立総合福祉会館	テーマ：伝え方上手・返し上手 講師：菅 瑠夏 氏（おおるりカウンセリンググループ代表、公認心理師、臨床心理士）	17人
-----	-------------------------	--	-----

b 有償ボランティア

回	実施日／場所	主な内容	参加人数
第1回	10月10日（木） 県立音楽堂	パンフレットへのチラシの挟み込み	3人
第2回	1月31日（木） 青少年センター NPO活動室1	相談窓口リーフレットの発送準備作業	5人
第3回	2月20日（木） 県立音楽堂	パンフレットへのチラシの挟み込み	3人
第4回	3月7日（金） 県立音楽堂	パンフレットへのチラシの挟み込み	2人

(キ) 支援調整業務

ひきこもり支援を推進するための体制を構築することを目的に会議を開催し、地域ブロックごとの市町村で意見交換を行った。

a 会議の開催

実施日等	内 容	参加人数
6月12日（水）横須賀・三浦 6月18日（火）県央 6月19日（水）湘南東部＋西部 6月26日（水）県西	・神奈川県ひきこもり支援市町村連携会議について ・ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業について ・出席者相互の意見交換	16市町村 30人
9月25日（水） 県立青少年センター （対面＋オンライン）	・精神疾患や発達障害を背景とするひきこもり当事者に対する支援について 講師： 小田原保健福祉事務所足柄上センター 保健予防課 職員 中井やまゆり園地域支援課 発達障害支援センターかながわA 職員 ・意見交換	16市町村 36人
12月17日（火） 県立青少年センター （対面＋オンライン）	・ひきこもり支援専門官に聞く「ひきこもり支援ハンドブック」のポイント 講師：松浦 拓郎 氏（厚生労働省社会・援護局地域福祉課 ひきこもり支援専門官） ・県内事例の紹介 ① こもりびとの支援の現状 大和市健康福祉総務課 職員 ② 藤沢市社協CSWひきこもり支援事例 藤沢市社会福祉協議会地域福祉課 職員 ・意見交換	13市町村 20人

実施日等	内 容	参加人数
3月12日(水) 県立青少年センター (オンライン)	・神奈川県ひきこもり地域支援センターの令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画について ・市町村におけるひきこもり関連事業令和6年度事業結果及び令和7年度事業計画について ・意見交換	15市町村 24人

ウ 舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業

不登校、ひきこもり等の問題を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施した。

実施日／場所	講師	参加人数
1月10日(金) 海老名市立総合福祉会館	講師： 河井 朗 氏 アシスタント： 蒼乃 まを 氏 永井 茉梨奈 氏	7人
2月4日(火) 大和市文化創造拠点シリウス		13人
2月28日(金) ひらつか市民活動センター		14人
3月7日(金) 藤沢市民会館		11人

エ フリースペース等相談事業費補助

フリースペース、フリースクール等を運営するNPO等が実施するひきこもり等青少年やその家族を対象とした相談活動に支援を行った。

補助対象団体数	10団体
---------	------

NPO法人教育支援協会南関東（フリースペースみなみ）
NPO法人楠の木学園
NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク
NPO法人教育活動総合サポートセンター
NPO法人フリースクール鈴蘭学園
NPO法人アンガージュマン・よこすか
NPO法人くだかけ会
NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ
NPO法人ここだね
NPO法人鎌倉あそび基地

(4) 青少年の科学体験活動の促進支援

青少年センターおよび県内地域において、科学体験やものづくりの講座、科学体験イベント、作品展や研究発表等を実施し、科学活動普及・啓発に努めた。あわせて、科学技術系人材育成事業として、キャリアプログラム等による青少年の人材育成、科学体験指導者の育成や教員研修事業を実施した。科学情報発信事業として、ホームページでの資料提供等を実施した。

※ 参加者数はすべて延べ人数

区分	事業名	概 要	参加者	参加者数
ア 科学活動普及・啓発事業				
(7) 青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによる科学講座を、県内4か所で開催し、子どもたちの科学体験の場を提供した。(横浜大会はロボフェスタ2024と兼ねているため、ロボフェスタの人数で算出)	青少年一般	1,862人
	青少年のための科学の祭典2024 神奈川大会	小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる実験・科学工作を行うブースによるイベントを開催し、青少年への科学の普及に寄与した。	青少年一般	1,511人
	星空教室	月と惑星、月食、星団等を天体望遠鏡で観察する教室を、13回予定したが、雨天のため2回中止、11回実施した。	小学生以上	729人
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて予定実施した。	青少年一般	27人
	日本学生科学賞 神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、出展数 137 点で、作品展を6日間開催した。	青少年一般	607人
	神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援した。25団体発表。	青少年一般	151人
	神奈川県工業高等学校生徒研究発表会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援した。9団体発表。	青少年一般	140人
(イ) 青少年科学体験支援事業	かながわりレー科学教室	移動科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を6か所7回開催した。	小学生保護者等	355人 (内小学生182人)
	依頼団体科学教室	学校や公民館等からの依頼により、実験ショー、科学工作教室等を県内各所で16回実施した。(子どもフェスティバルを含む)	小学生保護者等	1,957人 (内小学生1,154人)
	ロボットプログラム	自律型ロボットのプログラミングから機構について課題解決型で学習する講座として3つのテーマで計22回実施した。	小学生中学生保護者等	525人 (内小中学生271人)

区分	事業名	概 要	参加者	参加者数
	自然観察会	動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を県内4か所で、実施した。	小学生以上	92人
	科学体験教室	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を19回実施した。	小学生 (一部中学生) 保護者等	565人 (内小中学生285人)
	その他（共催事業）	ロボットゆうえんちとの共催でROBO-ONE、ROBO-剣を各1回、日本技術士会との共催で理科教室他を3回、神奈川工科大学と共催でロボットプログラムスペシャルを1回開催した。	青少年 一般	590人
	プチロボで競走しよう	走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競走する講座を、県内9か所で実施した。	小学3～6年生 保護者等	416人 (内小学生196人)
	(ウ)ものづくり子どもサイエンス事業	プチロボで競走しよう 走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競走する講座を、県内9か所で実施した。	小学3～6年生 保護者等	416人 (内小学生196人)

イ 科学技術系人材育成事業

(7) 青少年科学人材育成事業	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブ活動を1講座5回実施した。	小学4～6年生 保護者等	89人 (内小学生43人)
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を18回実施した。	小学3～6年生	431人 (内小学生218人)
	中高生サイエンスキャリアプログラム	県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を16回実施した。	中学生・高校生 一般	329人 (内中高生202人)
	高校生天文講座	天文施設見学も交えて、天体観測の基礎から最新観測法までを学ぶ講座を1講座10回実施した。	高校生	受講人数 6人 (延87人) (修了証6人)
	高校生科学ボランティア	青少年センター科学体験事業にボランティアスタッフとして参加する生徒募集を行った。開講式後、ボランティア活動開始した。年度末には活動証明書の発行を行った。	高校生	96人登録 延43講座 延209人 活動証明書 90人
	おもしろ実験・科学工作指導者セミナー	子どもたちに科学実験・科学工作を指導できる指導者を育成するため、5日間の講座を2コース（水曜コース、日曜コース）開催した。	一般	受講人数 12人 (延53人) (修了証11人)

区分		事業名	概 要	参加者	参加者数
(イ) 科学体験指導者育成事業	天文研究クラブ	高校生天文講座の修了者や一般の方を対象に、天体写真や画像処理についての講座を5回実施した。	高校生以上 ～ 一般	33人	
	教員研修科学講座	総合教育センターとの連携により、教員を対象に、2講座を実施した。	教職員	4人	
(ウ) 理科教育人材育成事業	依頼型教員研修講座	市町村の教育委員会等から依頼により3回実施した。	教職員	61人	
	小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携事業）	小学校教員養成課程を持つ大学との連携事業として、理科実験に関する講座を2講座開講した。	大学生	13人	
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	社会体験研修として大学生2人（5日間）、高校生5人（3日間）受け入れた。	大学生 高校生	2人 5人	
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	社会体験研修として大学生2人（5日間）、高校生5人（3日間）受け入れた。	大学生 高校生	2人 5人	
ウ 科学活動情報発信事業					
(7) 科学情報発信	科学情報発信	ホームページによる科学関係の情報を提供した。	一般	HPアクセス回数 31,352件	
	(イ) 科学相談	科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談、体験室利用に対応した。	小学生以上 ～ 一般	13件 76人	
エ 先端科学連携体験事業					
(ア) 先端科学企業等体験（カナラボ）	先端科学企業等体験（カナラボ）	企業や大学などから講師を招き、講義と実習を通して、先端科学技術に触れる講座を、4回実施した。	高校生	59人	
(イ) 青少年のためのロボフェスタ2024	青少年のためのロボフェスタ2024	「さがみロボット産業特区」関連事業との位置づけで、企業・研究機関・大学・高校等によるブースの出演によりロボットの楽しさを体験してもらう祭典を開催した。（子どもサイエンスフェスティバル横浜大会と兼ねるため、人数は一部再掲）	青少年 一般	1,313人	

各事業の内容は次のとおりである。

ア 科学活動普及・啓発事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起するため、イベント系啓発事業や体験講座を企画・運営・実施した。また、青少年による作品展や研究発表会を支援した。

(7) 青少年科学活動啓発事業

a 子どもサイエンスフェスティバル（主催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会）

回数	実施日	会 場		参加人数
1	9月22日（日・祝）	横 浜	青少年センター（紅葉ヶ丘）（ロボフェスタ2024兼子どもSF横浜大会）	1,313人
2	11月16日（土）	相模原	相模原市立青少年学習センター	133人
3	12月21日（土）	平 塚	平塚市青少年会館	193人
4	2月2日（日）	小田原	小田原市生涯学習センターけやき	223人

（出展者、アシスタント含む）

b 青少年のための科学の祭典2024神奈川大会

（共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

実施日	会 場	参加人数
8月11日（日）	神奈川県立青少年センター（紅葉ヶ丘）	1,511人

c 星空教室（定員各44名）新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を削減した

※青少年センター工事のため4月～9月の実施

回数	実施日	内 容	参加人数
1	4月20日（土）	月齢11の月と木星、天王星の接近	60人
2	5月18日（土）	月齢10の月と春の二重星	75人
3	6月15日（土）	月齢9の月と麦星、真珠星	雨天中止
4	7月13日（土）	月齢7の月と水星、アルビレオ	47人
5	8月14日（水）	月齢10の月と七夕の星	77人
6	8月17日（土）	月齢13の月と七夕の星	69人
7	9月15日（日）	月齢12と土星	69人
8	10月12日（土）	月齢8の月と金星、土星	62人
9	11月9日（土）	上弦の月と土星、海王星	56人
10	12月8日（日）	月齢7の月と土星食	71人
11	1月11日（土）	月齢11の月と木星、天王星	69人

回数	実施日	内 容	参加人数
12	2月11日(火・祝)	月齢13の月と火星、木星	74人
13	3月8日(土)	月齢8の月と木星、火星	雨天中止

(アシスタントスタッフ延べ18人含む)

d 科学講演会

「横浜の星空、相模原の星屑～神奈川で宇宙に触れる～」

講師：満澤 巨彦 氏

(JAMSTEC海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター シニアスタッフ)

※青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて実施した。

実施日	会 場	参加人数
2月28日(金)	多目的プラザ (スタジオ HIKARI)	27人

e 日本学生科学賞神奈川県作品展

期 間	内 容
10月9日(水)～15日(火) 初日、月曜を除く5日間	出展数137点 見学者総数607人 県知事賞2点、教育長賞2点、館長賞1点、他特別賞5点、学校賞1点、入賞25点、 地区特別賞2点

f 神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会

期 間	内 容
11月10日(日)	発表15 団体10 参加者総数151人 (高校生111人、一般40人)

(前日準備4人含む)

g 神奈川県工業高等学校生徒研究発表会

実施日	会 場	参加人数
1月15日(水)	神奈川総合産業高等学校 (発表9団体)	140人

(4) 青少年科学体験支援事業

a かながわりレー科学教室 (おもしろ実験・科学工作教室)

回数	実施日	会 場	参加人数
1	5月26日(日)	厚 木 青少年センター科学部	39人
2	6月9日(日)	座 間 座間市立青少年センター	55人
3	8月30日(金)	寒 川 寒川町民センター	57人

回数	実施日	会 場		参加人数
4	11月24日(日)	藤 沢	善行公民館	56人
5	11月30日(日)	綾 瀬	綾瀬市役所	62人
6	12月14日(土)	中 井	中井町立井ノ口公民館	46人
7	2月8日(土)	厚 木	青少年センター科学部	40人

(指導者セミナー修了者延べ19人、高校生科学ボランティア延べ13人含む)

b 依頼団体科学教室

回数	実施日	会 場 (内 容)	参加人数
1	5月5日(日)	午前 厚木子ども科学館 (子ども科学館まつり)	24人
2	5月5日(日)	午後 厚木子ども科学館 (子ども科学館まつり)	19人
3	6月23日(日)	綾瀬市役所 (綾瀬市子ども会育成連絡協議会)	29人
4	6月29日(土)	愛川町文化会館 (愛川町生涯学習課)	16人
5	7月23日(火)	大和市立林間小学校 (寺子屋やまと)	107人
6	7月28日(日)	座間市公民館	27人
7	8月3日(土)	大和市教育研究所 (大和夏のおもしろ科学館)	129人
8	8月21日(水)	平塚市花水公民館 (浜岳地域教育力ネットワーク)	260人
9	9月17日(火)	荏田北幼保連携認定こども園 (星空教室)	42人
10	10月11日(金)	座間市青少年センター (星空教室)	38人
11	12月8日(日)	厚木市子ども科学館 (サイエンスウィンター)	179人
12	12月11日(水)	希望ヶ丘高等学校 (星空教室)	27人
13	1月19日(日)	青少年センター (子どもフェスティバル)	989人
14	2月12日(水)	青少年センター (引きこもり星空教室)	17人
15	2月16日(日)	相模原市相武台公民館	38人
16	3月15日(土)	青少年センター科学部 (教育情報研究会)	16人

c ロボットプログラム

(a) ロボットプログラム 小学生ジュニアの部 (小1～3)【センサーを使ってミッションをクリアしよう】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	12月24日(火)	青少年センター 科学部 (10:00～12:00)	6人	12人
2	12月24日(火)	青少年センター 科学部 (13:30～15:30)	12人	15人

(高校生科学ボランティア延べ10人含む)

(b) ロボットプログラム 小学生の部 (小3～6) 【仲間と協力してモノを運ぼう】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	6月2日(日)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	13人	9人
2	6月2日(日)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	14人	15人
3	10月20日(日)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	16人	15人
4	10月20日(日)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	10人	11人
5	2月15日(土)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	14人	9人
6	2月15日(土)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	11人	5人

(高校生科学ボランティア延べ6人含む)

(c) ロボットプログラム 小学生の部 (小3～6) 【センサーを使ってミッションをクリアしよう】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	7月14日(日)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	15人	18人
2	7月14日(日)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	14人	12人
3	10月12日(土)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	15人	12人
4	10月12日(土)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	15人	14人
5	3月1日(土)	青少年センター科学部 (10:00～12:00)	11人	9人
6	3月1日(土)	青少年センター科学部 (13:30～15:30)	10人	10人

(高校生科学ボランティア延べ10人含む)

(d) ロボットプログラム 小学生の部（小3～6） 【対決！ロボットバトル】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	6月30日(日)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（10：00～12：00）	15人	17人
2	6月30日(日)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（13：30～15：30）	15人	11人
3	11月30日(土)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（10：00～12：00）	11人	11人
4	11月30日(土)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（13：30～15：30）	14人	15人
5	1月25日(土)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（10：00～12：00）	14人	13人

（高校生科学ボランティア延べ7人含む）

(e) ロボットプログラム 中学生の部 【仲間と協力してモノを運ぼう】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
1	7月24日(水)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	14人	13人

（高校生科学ボランティア延べ3人含む）

(f) ロボットプログラム 中学生の部 【センサーを使ってミッションをクリアしよう】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
1	6月22日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	6人	3人

(g) ロボットプログラム 中学生の部 【対決！ロボットバトル】

回数	実施日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
1	1月25日(土)	青少年センター（紅葉ヶ丘）（13：30～15：30）	6人	5人

（高校生科学ボランティア延べ1人含む）

d 自然観察会

回数	実施日	会 場	内 容	参加人数
1	7月6日(土)	天神島(横須賀市)	磯の生き物や地層の観察	24人
2	9月14日(土)	鶴見川流域センター周辺	川魚の観察、遊水地の学習	23人
3	10月27日(日)	県立座間谷戸山公園	どんぐり採集、分類・工作	17人
4	12月8日(日)	鶴見川流域センター周辺	野鳥観察、遊水地の学習	28人

e 科学体験教室 対象：小学生（＊一部中学生）

回数	実施日	内 容	参加人数
1	5月3日(金・祝)	午前 春の科学まつり	38人
2	5月3日(金・祝)	午後 春の科学まつり	51人
3	7月21日(日)	海の小さな生き物でつくる標本 ＊	18人
4	7月26日(金)	午前 音と光のふしぎ	48人
5	7月26日(金)	午後 音と光のふしぎ	43人
6	8月22日(木)	午前 顕微鏡で観察しよう	16人
7	8月22日(木)	午後 顕微鏡で観察しよう	19人
8	10月19日(土)	化学実験 ＊	29人
9	11月2日(土)	午前 ロケットをつくろう	24人
10	11月2日(土)	午後 ロケットをつくろう	27人
11	11月9日(土)	午前 電子オルゴールをつくろう（電子工作） ＊	15人
12	11月9日(土)	午後 電子オルゴールをつくろう（電子工作） ＊	20人
13	12月7日(土)	午前 電気と磁石のふしぎ	38人
14	12月7日(土)	午後 電気と磁石のふしぎ	51人
15	1月26日(日)	DNAを発見しよう ＊	25人
16	2月9日(日)	スマートボールをつくろう ＊	16人
17	2月22日(土)	午前 プロペラカーをつくろう（電気回路の工作）	30人
18	2月22日(土)	午後 プロペラカーをつくろう（電気回路の工作）	28人
19	3月2日(日)	色と香りの化学実験 ＊	29人

（高校生科学ボランティア延べ41人含む）

f その他（共催事業）

回数	実施日	会 場（内 容）	参加人数
1	7月6日（土）	青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE カンファレンス）	35人
2	7月7日（日）	青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE プレ大会）	20人
3	9月21日（土） 9月22日（日）	青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-ONE）	380人
4	11月23日（土）	青少年センター紅葉ヶ丘（ROBO-剣）	60人
5	7月27日（土）	青少年センター科学部（日本技術士会 夏休み理科教室）	19人
6	8月24日（土）	青少年センター紅葉ヶ丘（日本技術士会 夏休み理科教室）	36人

(ウ) ものづくり子どもサイエンス事業

ものづくり関係講座、ロボット関連事業を提供した。

a プチロボで競走しよう大会

回数	実施日	会 場		参加人数	
				小学生	その他
1	6月8日（土）	座間	座間市立青少年センター	24人	20人
2	8月20日（火）	厚木	青少年センター科学部	21人	22人
3	8月29日（木）	寒川	寒川町民センター	24人	26人
4	8月31日（土）	茅ヶ崎	茅ヶ崎市青少年会館	21人	24人
5	9月15日（日）	横浜	青少年センター（紅葉ヶ丘）	22人	33人
6	9月28日（土）	大和	桜丘学習センター	22人	26人
7	11月17日（日）	逗子	逗子文化プラザ市民交流センター	21人	23人
8	12月1日（日）	綾瀬	綾瀬市役所	24人	29人
9	12月15日（日）	松田	松田町生涯学習センター	17人	17人

（指導者セミナー修了者延べ40人、高校生科学ボランティア延べ34人含む）

イ 科学技術系人材育成事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、次世代の科学技術を担う人材の育成や、科学体験活動指導者の育成事業を実施した。

(7) 青少年科学人材育成事業

a 小学生科学研究クラブ(1コース5回、定員12名)

回数	実施日	内 容	参加人数	
			小学生	その他
1	7月13日(土)	オリエンテーション、研究テーマ決定	9人	9人
2	7月31日(水)	研究活動	7人	7人
3	8月7日(水)	研究活動	9人	7人
4	8月17日(土)	研究活動	6人	5人
	8月23日(金)		2人	1人
5	8月25日(日)	研究発表会	10人	17人

*第4回は予定日が台風接近のため、8月17日及び23日に代替を行った。

b 子ども科学探検隊(主催:神奈川県青少年科学体験活動推進協議会)

回数	実施日	内 容	参加人数	
			小中学生	その他
1	6月23日(日)	麻布大学	10人	10人
2	6月29日(土)	三菱みなとみらい技術館	19人	28人
3	7月6日(土)	日本技術士会 神奈川県支部 (会場 青少年センター科学部)	10人	14人
4	7月20日(土)	神奈川工科大学	9人	8人
5	7月24日(水)	青山学院大学 理工学部	8人	8人
6	7月27日(土)	よこはま動物園ズーラシア	24人	0人
7	7月30日(火)	国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)	18人	15人
8	7月31日(水)	野毛山動物園	9人	0人
9	8月1日(木)	横須賀市自然・人文博物館	13人	10人
10	8月3日(土)	鎌倉女子大学 教育学科①	8人	9人
11	8月4日(日)	鎌倉女子大学 児童学科	9人	12人

回数	実施日	内 容	参加人数	
			小中学生	その他
12	8月9日(金)	鎌倉女子大学 教育学科②	14人	20人
13	8月21日(水)	神奈川県環境科学センター	3人	4人
14	8月22日(木)	湘南工科大学	11人	10人
15	8月23日(金)	東海大学	26人	42人
16	9月7日(土)	麻布大学 獣医学部	9人	13人
17	9月14日(土)	横浜市立金沢動物園	9人	0人
18	9月29日(土)	伊勢原市立子ども科学館	9人	10人

c 中高生サイエンスキャリアプログラム

回数	実施日	訪問施設	参加人数	
			中高学生	保護者 (含弟妹)
1	7月13日(土)	鎌倉女子大学 管理栄養学科	9人	2人
2	7月20日(土)	日本技術士会 神奈川県支部 (会場 青少年センター科学部)	10人	10人
3	7月23日(火)	産業技術短期大学校	7人	3人
4	7月25日(木)	三菱みなとみらい技術館	10人	5人
5	7月26日(金)	株式会社ミットヨ ミットヨ測定博物館	5人	0人
6	7月27日(土)	青山学院大学 社会情報学部	15人	12人
7	7月28日(日)	午前 北里大学 薬用植物園	25人	14人
8	7月28日(日)	午後 北里大学 薬用植物園	20人	12人
9	7月30日(火)	神奈川工科大学	4人	2人
10	8月4日(日)	湘南工科大学	17人	16人
11	8月6日(火)	横須賀市自然・人文博物館	6人	3人
12	8月7日(水)	午前 北里大学	13人	10人
13	8月7日(水)	午後 北里大学	16人	11人

回数	実施日	訪問施設	参加人数	
			中高学生	保護者 (含弟妹)
14	8月8日(木)	鎌倉女子大学 教育学科	15人	12人
15	8月22日(木)	株式会社MANOI企画	8人	2人
16	8月23日(金)	北里大学ミニ水族館 北里アクアリウムラボ	22人	13人

d 高校生天文講座(1コース11回、定員15人)

回数	実施日	内 容	参加人数
1	7月20日(土)	開講式とガイダンス、天体望遠鏡の使い方Ⅰ	10人
2	8月1日(木)	天体望遠鏡の使い方Ⅱ	11人
3	8月24日(土)	天体観測法Ⅰ	12人
4	8月31日(土)	天体観測法Ⅱ	雨天中止
5	10月5日(土)	天体観測法Ⅲ	6人
6	10月26日(土)	天体観測法Ⅳ	8人
7	11月16日(土)	施設見学(かわさき宙と緑の科学館・国立天文台)	5人
8	11月23日(土)	画像処理講座Ⅰ	7人
9	12月21日(土)	画像処理講座Ⅱ	11人
10	1月25日(土)	画像処理講座Ⅲ、振り返り会の資料作成	9人
11	2月11日(火・祝)	振り返り会、修了式(修了6人)	8人

e 高校生科学ボランティア(登録96人 延べ48講座 226人活動 活動証明書発行90人)

実施日		内 容	参加人数
6月15日(日), 16(土) 他1回		オリエンテーション	92人
1	7月14日(日)	ロボットプログラム小学生 午前 講座補助	2人
2	7月14日(日)	ロボットプログラム小学生 午後 講座補助	2人
3	7月21日(日)	海の小さな生き物でつくる標本 講座補助	2人
4	7月24日(水)	ロボットプログラム中学生 講座補助	3人
5	7月26日(金)	音と光のふしぎ 午前 講座補助	4人
6	7月26日(金)	音と光のふしぎ 午後 講座補助	4人

実施日		内 容	参加人数
7	8月3日(土)	大和夏のおもしろ科学館 講座補助	2人
8	8月10日(土)	青少年のための科学の祭典2024 前日準備補助	15人
9	8月11日(日)	青少年のための科学の祭典2024 運営補助	27人
10	8月20日(火)	プチロボで競争しよう(厚木) 講座補助	3人
11	8月22日(木)	顕微鏡で観察しよう 午前 講座補助	3人
12	8月22日(木)	顕微鏡で観察しよう 午後 講座補助	3人
13	8月29日(木)	プチロボで競争しよう(寒川) 講座補助	5人
14	8月30日(金)	かながわりレー科学教室(寒川) 講座補助	3人
15	8月31日(土)	プチロボで競争しよう(茅ヶ崎) 講座補助	5人
16	9月15日(日)	プチロボで競争しよう(横浜) 講座補助	4人
17	9月21日(土)	青少年のためのロボフェスタ2024 前日準備補助	9人
18	9月22日(日)	青少年のためのロボフェスタ2024 運営補助	16人
19	9月28日(土)	プチロボで競争しよう(大和) 講座補助	5人
20	10月12日(土)	ロボットプログラム小学生 午前 講座補助	3人
21	10月12日(土)	ロボットプログラム小学生 午後 講座補助	3人
22	10月19日(土)	化学実験 講座補助	3人
23	10月20日(日)	ロボットプログラム小学生 午前 講座補助	3人
24	10月20日(日)	ロボットプログラム小学生 午後 講座補助	3人
25	11月2日(土)	ロケットをつくろう 午前 講座補助	3人
26	11月2日(土)	ロケットをつくろう 午後 講座補助	3人
27	11月9日(土)	電子オルゴールをつくろう 午前 講座補助	4人
28	11月9日(土)	電子オルゴールをつくろう 午後 講座補助	4人
29	11月16日(土)	子どもサイエンスフェスティバル(相模原) 運営補助	9人
30	11月17日(日)	プチロボで競争しよう(逗子) 講座補助	4人
31	11月24日(日)	かながわりレー科学教室(藤沢) 講座補助	2人
32	11月30日(土)	ロボットプログラム小学生 午前 講座補助	3人
33	11月30日(土)	ロボットプログラム小学生 午後 講座補助	3人
34	11月30日(土)	かながわりレー科学教室(綾瀬) 講座補助	2人
35	12月1日(日)	プチロボで競争しよう(綾瀬) 講座補助	3人

実施日		内 容	参加人数
36	12月7日(土)	電気と磁石のふしぎ 午前 講座補助	3人
37	12月7日(土)	電気と磁石のふしぎ 午後 講座補助	3人
38	12月14日(土)	かながわりレー科学教室(中井) 講座補助	4人
39	12月15日(日)	プチロボで競争しよう(松田) 講座補助	5人
40	12月21日(土)	子どもサイエンスフェスティバル(平塚) 運営補助	8人
41	12月24日(火)	ロボットプログラムジュニア 午前 講座補助	5人
42	12月24日(火)	ロボットプログラムジュニア 午後 講座補助	5人
43	1月25日(土)	ロボットプログラム小学生・中学生 講座補助	1人
44	1月26日(日)	DNAを発見しよう 講座補助	1人
45	2月1日(土)	子どもサイエンスフェスティバル(小田原) 前日準備補助	7人
46	2月2日(日)	子どもサイエンスフェスティバル(小田原) 運営補助	8人
47	2月8日(土)	かながわりレー科学教室(厚木) 講座補助	3人
48	2月9日(日)	スマートボールをつくろう 講座補助	1人

(イ) 科学体験指導者育成事業

a おもしろ実験・科学工作指導者セミナー(各コース定員15人、5日間)

回数	水曜日コース	日曜日コース	内 容	参加人数
1	10月2日(水)	9月29日(日)	開講式、科学工作ワークショップ	11人
2	10月9日(水)	10月6日(日)	おもしろ実験ショーの練習	11人
3	10月16日(水)	10月13日(日)	講義:「実験を安全に行うために」、おもしろ実験ショーの練習	11人
4	10月23日(水)	10月27日(日)	発表練習、プチロボ紹介	9人
5	10月30日(水)	11月3日(日)	発表、修了式	11人

修了者 11人

b 天文研究クラブ(年間6回、定員15人)

回数	実施日	内 容	参加人数
1	5月25日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	6人
2	7月20日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	7人
3	9月1日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	3人
4	11月30日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	7人

回数	実施日	内 容	参加人数
5	1月18日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	7人
6	3月15日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	3人

(7) 理科教育人材育成事業

a 教員研修科学講座（総合教育センター連携研修講座）

回数	実施日	内 容	参加人数
1	8月2日(水)	身近な素材で科学工作・実験（物理分野）	2人
2	8月6日(火)	ロボットプログラミング講座	2人

b 依頼型教員研修講座

回数	実施日	内 容	参加人数
1	6月21日(金)	大和市教育委員会教員研修「小学校理科の観察・実験の基礎」	23人
2	9月7日(土)	厚木市教育委員会寺子屋研修	6人
3	11月6日(水)	秦野市小学校教育研究会理科部会	32人

c 小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携支援事業）

回数	実施日	内 容	参加人数
1	2月7日(金)	鎌倉女子大学 午前（小学校理科の実験講座 生物分野）	7人
2	2月7日(金)	鎌倉女子大学 午後（小学校理科の実験講座 生物、物理分野）	6人

d 社会体験研修受入

※令和6年度は受け入れなし

e インターンシップ

期 間	対 象	参加人数
8月8日(木)	大学生（8月8日～13日）	2人
～13日(火)	高校生（8月9日～11日）	5人

ウ 科学活動情報発信事業

青少年の科学活動を促進、支援するための科学情報を提供した。

(7) 科学情報発信

科学支援課の事業の広報とあわせて、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た科学関係の催し物の情報や、天文関係の資料等をホームページで提供した。

ホームページアクセス回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2,318	3,018	3,218	5,183	3,596	2,785	31,352 R5年度 (30,568)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2,166	2,009	1,494	1,915	1,708	1,942	

(4) 科学相談

科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談を受け付けた。また科学体験機材の貸出や科学体験室を活用した研究等を支援した。

・13件76人

内訳：来館利用1件2人、機材貸出5件5人、電話2件2人、体験室貸出2件64人、メール3件3人

エ 先端科学連携体験事業

(7) 先端科学企業等体験会(カナラボ)

回数	実施日	内 容	参加人数
1	8月1日(木)	サーモフィッシャーサイエンティフィック「PCRで実験！肉の種類を見分けよう」	24人
2	9月28日(土)	青山学院大学「レアースを光らせよう！」	6人
3	11月16日(土)	理化学研究所「血液のがん『白血病』に対する新しい治療開発を知ろう！」	15人
4	2月22日(土)	JAXA宇宙科学研究所「火星大気環境で風洞実験と数値液体シミュレーションをやってみよう！」	14人

(4) 青少年のためのロボフェスタ2024兼子どもサイエンスフェスティバル横浜大会

(共催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会、神奈川県教育委員会)

実施日	会 場	参加人数
9月22日(日)	神奈川県立青少年センター(紅葉ヶ丘) (再掲)	1,313人

(5) ホール等の運営

区分	事業名	概 要	鑑賞(参加) 対象	観客 (参加者)数
ア 共催・後援事業				
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催することにより一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般	14,410 人
	後援事業		一般	464人
イ ホール等の運営				
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般	53,762 人

以下の事業は、平成 30 年度より文化課へ移管し、実施した。

青少年や県民の舞台芸術活動への支援

児童文化活動支援として、人形劇などの児童文化活動を行っているグループの成果発表や相互交流事業を実施し、また、青少年の舞台芸術活動と県民の芸術文化の振興を図るため、優れた舞台芸術（演劇、舞踊等）の鑑賞事業及び演劇・創作舞踊の講習会、発表会等の創造活動事業、「舞台表現エンパワーメント・プロジェクト」によるアウトリーチや少人数対象のワークショップ事業を実施した（一部中止）。

さらに、青少年センターにおける舞台芸術機能の強化・充実を図るため、平成 30 年度から開始した以下の取り組みを実施した。

- ・ マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して上演作品の質的向上を図る「マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業」を実施した。

また、伝統芸能等普及振興のため、歌舞伎鑑賞教室、人形浄瑠璃文楽、かながわ伝統文化こども歳時記を実施した。

その一方で、県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や練習場所を提供している。

区分	事業名	概 要	鑑賞(参加) 対象	観客 (参加者)数
ウ 青少年舞台芸術活動推進事業				
(7) 児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会 (かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	幼児・小学生、その保護者など	375人
(4) 青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施。	青少年及び一般	1,677人
(7) 演劇舞踊等創造活動事業	中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施。	中学生	1,645人
			高校生	1,575人
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施。	中学生	614人
	中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	中学生	773人
			高校生及び教員	431人
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施。	中学生以上及び教員	2,140人
(1) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト	演劇部お助け講座	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施。	中学校の演劇部	244人
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	高校生向けの先端的なワークショッププログラム（ステーキング、舞台衣装）を実施することで、時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資した。	高校生など	11人
	ダンスの心技体＋創	高校ダンス部対象のストリートダンスのワークショップ（ダンス講習会と統合して実施）	高校ダンス部	—
(6) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業		第310回青少年芸術劇場「せかい」に統合して実施	高校生・大学生	アンサンブル出演者と

区分	事業名	概 要	鑑賞(参加) 対象	観客 (参加者)数
				して15名が 参加
エ マグネット・カルチャー推進事業				
(7) マグカルシアター	紅葉坂舞台塾	スズキ拓郎を中心とするチャイロイプリング、広く一般から募った青少年にダンス、演技等に関する様々な分野を複合的にレッスンし、共に作品づくりに取り組む中から舞台芸術を学んでもらい、その成果を多目的プラザ（スタジオHIKARI）で発表した。	高校生～29歳以下の者	17人
	上記公演		一般	198人
	マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザ（スタジオHIKARI）を約1週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指した。	青少年、一般	3,916人
	マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「第60回関東高等学校演劇研究大会」が本県開催であったため、本県出場校が同じとなる12月開催の「マグカル・ハイスクール演劇フェスタ」は中止し、3月開催の横浜市高等学校春季演劇発表会（春フェス）のみ実施した。	青少年、一般	33校（団体） 1,687人
オ 青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）				
(7) マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業		マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	マグカルシアターに出演が決定した団体等	60団体 1,014人
ステップアップ公演事業		マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。	青少年、一般	ステップアップ公演として相応しい団体がなかったため実施なし
カ 伝統芸能等普及振興事業				
(7) かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	青少年、一般	1,395人

区分	事業名	概 要	鑑賞(参加) 対象	観客 (参加者)数
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年、 一般	1,096人
	かながわ伝統文化こども歳時記	地域の伝統文化に親しんでいただくことを目的に、子どもや親子を対象として体験型の企画を盛り込んだフェスティバル事業を実施した。	子ども、青少年、 一般	648人

各事業の内容は次のとおりである。

ア 共催、後援事業

青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、青少年センターが共催、後援することにより、一層その成果を高めることができる次の事業を、共催者、後援者として実施した。

(7) 共催事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
5月17日(金) ～19日(土)	神奈川ミュージカルアワード 2023	文化課 横浜市民ミュージカル公演実行委員会	1,385人
6月7日(金) ～8日(土)	令和6年度 第1回教育委員会とフリースクール等による不登校相談会(※1)	神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会	141人
6月14日(金) ～15日(土)	第62回神奈川県高等学校総合体育大会 第33回神奈川県高等学校ダンスコンクール	神奈川県高等学校体育連盟	3,000人
7月15日(月)	第211回定期演奏会	公益財団法人神奈川県青少年交響楽団	150人
7月20日(土) ～21日(日)	舞台技術講習会	神奈川県高等学校文化連盟演劇専門部会、神奈川県高等学校演劇連盟	311人
8月12日(月・祝) ～13日(火)	日本舞踊に学ぶ“和”の作法	神奈川県国際文化観光局文化課	84人
9月6日(金) ～7日(土)	令和6年度 不登校児童・生徒、高校中退者等のための不登校相談会・進路情報説明会(※1)	神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会 横浜子ども支援協議会	157人
10月12日(土)	第63回神奈川県中学校連合音楽会	神奈川県小中音楽教育連盟、神奈川県公立中学校教育研究会音楽部会	503人
11月9日(土) ～10日(日)	神奈川県高等学校総合文化祭 第35回高等学校理科部研究発表大会(※2)	神奈川県高等学校文化連盟自然科学専門部会	153人
11月10日(日)	2024 かながわの太鼓	神奈川県、神奈川県太鼓連盟	590人
11月19日(金) ～12月1日(日)	第24回手づくり紙芝居コンクール	紙芝居文化推進協議会	326人
11月22日(金) ～23日(土)	第3回新 ROBO-剣(※2)	一般社団法人二足歩行ロボット協会	140人

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
11月23日(土) ～24日(日)	第58回神奈川県名流邦舞祭	公益社団法人日本舞踊協会 神奈川県支部	893人
1月8日(水) ～1月13日(月)	第60回関東高等学校演劇研究大会	神奈川県高等学校文化連 盟演劇専門部	3,108人
1月30日(木) ～2月2日(日)	第55回神奈川県定通芸術祭	神奈川県高等学校定通教 育振興会文化部	320人
2月8日(土) ～9日(日)	第56回児童福祉施設あすなろ交歓会 第63回神奈川県児童福祉施設作品展	神奈川県児童福祉文化体 育協会	841人
3月1日(土) ～2日(日)	かながわ能楽ワークショップ	神奈川県、公益財団法人 鎌倉能舞台	43人
3月18日(月) ～3月23日(日)	2025年度神奈川県演劇連盟合同公演	神奈川県演劇連盟	828人
3月25日(火) ～30日(日)	2025 関東中学校演劇コンクール	関東中学校演劇研究協議 会	1,437人

※1：青少年サポート課関連事業

※2：科学部関連事業

(イ) 後援事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
4月21日(日) ～3月2日(日)	青少年のための日本舞踊講座	公益社団法人日本舞踊協会、 神奈川県支部	464人

イ ホール等の運営

県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

利用者の状況（主催、共催事業を除く。）

（単位：人）

区 分	演劇関係	舞踊関係	音楽関係	講演・式典等	計
ホール	9,169	22,356	6,087	9,249	46,861
多目的プラザ	353	842	0	90	1,285
練習室	1,695	3,754	17	150	5,616
合 計	11,217	26,952	6,104	9,489	53,762

以下の事業は、文化課へと移管され実施されている。

ウ 青少年舞台芸術活動推進事業

(7) 児童文化活動推進事業

児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図った。

- ・ かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）

地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	回数	観客 (参加者)数
2月22日(土) ～23日(日)	第41回かながわ人形劇フェスティバル 人形劇「へっこき嫁さん」他6演目 出演：7団体 講師：月永 勉（デザインルーム美研主宰） 岡本 和彦（人形劇団プーク 俳優） 会場：青少年センター多目的プラザ (スタジオ HIKARI)	幼 児・小 学 生、その保護 者など申込 者	4回	375人

(4) 青少年舞台芸術等鑑賞事業

青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、青少年芸術劇場を実施した（会場：紅葉坂ホール）。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	観客 (参加者)数
7月27日(土)～ 28日(日)	①第309回神奈川県青少年芸術劇場 カンパニーデラシネラ「松本清張 点と線」	青 少 年 及 び 一 般	1,145人
11月30日(土) 13:00/19:00、12 月1日(日)13:00 計3回公演	第310回神奈川県青少年芸術劇場『せかい A moment with the wondering age』 作・演出：平原慎太郎	青 少 年 及 び 一 般	532人

(7) 演劇舞踊等創造活動事業

青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供した。

a 中・高等学校演劇発表会

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
12月7日(土) 8日(日)	第62回神奈川県中学校演劇発表会 出演：県内中学校14校 講師：山下 秀光（表現教育コーディネーター） 波田野淳紘（劇作家、演出家、劇団820製作所主宰） 田中 信也（劇団扉座Education部部长 制作・演	中学生	1,645人

	出) 会場：紅葉坂ホール		
11月18日(火) 19日(水)	第63回神奈川県高等学校演劇発表会 出演：県内6地区代表13校 講師：瀬戸山美咲（演劇ユニット「ミナモザ」主宰・劇作家・演出家） 南波 圭（演劇百貨店・俳優） 宮本 浩司（東京都成蹊中学校・高等学校演劇部顧問） 会場：紅葉坂ホール	高校生	1,575人

b 中学校創作劇発表会

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
8月2日(金)	第19回神奈川県中学校創作劇発表会 出演：7校 講師：斉藤 俊雄（劇作家、久喜市部活動指導員） オノマリコ（劇作家） 会場：紅葉坂ホール	中学生	614人

c 中・高等学校演劇講習会

中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
8月3日(土) 4日(日)	第60回神奈川県中学校演劇講習会 参加：49校 ダンス、即興、殺陣、グループ創作、朗読劇、脚本創作、大道具製作及び顧問相談コーナー（同内容を2日間で2回実施） 会場：県立青少年センター （紅葉坂ホール、多目的プラザ（スタジオHIKARI）、練習室等）	中学生	773人
7月29日(月) 30日(火)	第60回神奈川県高等学校演劇講習会 参加：62校 演技基礎、演技応用、殺陣・身体訓練、演出、脚本（2日間で2回実施） 会場：青少年センター （紅葉坂ホール、多目的プラザ（スタジオHIKARI）、練習室等）	高校生	431人

d 青少年ダンス発表会

表現芸術の充実と向上を図ることを目的にダンス発表会を実施した。

実施日	内 容 ・ 講師等	対 象	参加者数
11月4日(月・祝)	第58回神奈川県青少年ダンス発表会 出演者：中・高等学校・大学等40校(団体) 会 場：紅葉坂ホール	中学生以上及び教員	2,140人

e 青少年ダンス講習会

青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。

実施日	内 容 ・ 講師等	対 象	参加者数
8月7日(水) 8日(木)	第60回神奈川県青少年ダンス講習会 内容：ヒップホップ、ハウス ジャズ ポップ、ロック 会場：紅葉坂ホール、多目的プラザ(スタジオHIKARI)、 練習室、研修室1, 2	中学生以上及び教員	419人

(I) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト

これまでの講習会や発表会でのプログラムを補完するプログラムを、第一線で活躍する講師陣により開催した。一部プログラムをアウトリーチ(県域)で実施した。

a 演劇部お助け講座

中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。(高校生対象は実施せず)

実施日	内 容 ・ 講師等	場 所	対 象	参加者数
12月21日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師	横須賀市はまゆう会館	中学校の演劇部	57人
1月18日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師	桐光学園小学校体育館		98人
2月22日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店 所属講師	平塚市立江陽中学校		89人

b 青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス

大人数の講習会の内容に飽き足らないやる気のある層を対象に、地域や時代のニーズに合わせた先端的なプログラムを実施した。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
1月25日(土) 2月2日(日)	【ステージング編】 講師：中村蓉 (振付家、ダンサー、演出家) 会場：紅葉坂ホール、スタジオHIKARI	高校生など	11人
2月11日(火祝) 2月22日(土)	【舞台衣装編】 講師：萩野緑 (舞台衣装デザイナー及び製作者) 会場：研修室2		

c ダンスの心技体+創

ストリートダンスに取り組む高校生向けにジャズのワークショップを実施した。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
8月7日(水) 8日(木)	ダンス講習会に統合して実施	高校生	—

(f) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業

舞台芸術の創作を通じ、青少年の自己表現やコミュニケーション力、他者との協調性を伸ばすためのワークショップを実施した。

実施日	内容 ・ 講師等	対 象	参加者数
11月30日(土) 13:00／19:00、 12月1日(日) 13:00 計3回公演	第310回青少年芸術劇場「せかい」に統合して実施	高校生・大学生	アンサンブル出演者として15名が参加

エ マグネット・カルチャー推進事業

「若者がいつでも、自らの才能を発揮でき、有能な人材を発掘できる場」として、若者文化の開放区をめざすための事業を実施した。

(7) マグカルシアター

a 紅葉坂舞台塾

月 日	ジャンル	出演団体	演 目	公演(練習)回数	観客(参加者)数
8月31日(土) 9月1日(日)	演劇	紅葉坂舞台塾生 ほか	おどるマンガ『鳥獣戯画』	4回	198人

b マグカルシアター

月 日	ジャンル	出演団体	演 目	公演数	観客数
4月24日(水) ～29日(月祝)	ダンス	NPO 法人あしあとでつな がろうプロジェクト	Vision To Know あなたが何かを知るため	2回	32人

月 日	ジャンル	出演団体	演 目	公演数	観客数
			に		
5月1日(水) ～6日(月祝)	演劇	劇団820製作所	なぜけもののわかさはにがい のか	7回	431人
5月15日(水) ～19日(日)	演劇	乙戯社	ゲド戦記ー影との戦いー	5回	212人
5月21日(火) ～26日(日)	演劇	趣向	べつのほしにいくまえに	6回	419人
5月28日(火) ～6月2日(日)	演劇	有限会社エムアイエス (M2)	黒い太陽	5回	323人
6月11日(火) ～14日(金)	演劇	演劇ユニット平成レトロ	猫町	3回	32人
6月26日(水) ～30日(日)	演劇	キューイ	OVERWORK	4回	119人
7月10日(水) ～15日(月祝)	演劇	演劇ユニットせのび	夏に冬は思い出せない	8回	267人
7月16日(火) ～19日(金)	ダンス	NPO法人 LAND FES	スクランブル・ダンスプロジ ェクト公演	2回	158人
7月23日(火) ～28日(日)	演劇	演劇プロデュース『螺旋 階段』	氷は溶けるのか、解けるのか	4回	235人
8月13日(火) ～18日(日)	演劇	白いたんぼ	閉められた窓だけが光る	2回	69人
10月1日(火) ～6日(日)	演劇	老若男女未来学園	アワ・マクベス	6回	139人
10月29日(火) ～11月3日(日 祝)	演劇	チリアクターズ	邪行提燈	6回	240人
11月6日(水) ～8日(金)	演劇	Halo G(ヘイロージー)	ダルヴァザの火を消しに	3回	93人
11月18日(火) ～11月21日(日)	演劇	劇団スクランブル	ご近所にご用心	3回	113人
11月24日(月) ～11月28日(木)	演劇	ブルーエゴナク	たしかめようのない	4回	119人
12月10日(火) ～14日(土)	ダンス	スペースノットブランク	再生	6回	198人
1月20日(月) ～24日(金)	演劇	1999会	解体されゆくアントニン・レ ーモンド建築 旧体育館の話	5回	252人
2月12日(水) ～16日(日)	演劇	劇団やぶさか	Odd bird!!	5回	320人
3月18日(火) ～23日(日土)	演劇	関田育子	At one	3回	145人

c マグカル・ハイスクール演劇フェスタ

実施日	ジャンル	出演団体	出演校 (団体)数	観客数
3月26日(水) ～31日(日)	高校演劇	横浜市高等学校春季演劇発表会	33校(団体)	1,687人

オ 青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）

舞台づくり機会の充実を図るため、青少年センターの施設機能を活かした「マグカルシアター」の出演団体への支援事業を行うとともに、青少年に優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。

(7) マグカルマグネット・カルチャー推進強化事業

a マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業

実施日	内 容 等	支援内容	累計
通年	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図る。	研修室の稽古場利用団体数 及び利用人数	60団体 596人
		演劇資料室の夜間利用者数	418人

b ステップアップ公演事業（会場：多目的プラザ（スタジオHIKARI））

実施日	内 容 等	演 目	観客数
実施なし	マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供する。	ステップアップ公演として相応しい団体がなかったため	—

カ 伝統芸能等普及振興事業

我が国を代表する古典芸能や、地域で継承されている民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、多彩な伝統芸能の上演を行った。

(7) かながわ伝統芸能祭

a 歌舞伎鑑賞教室

実施日	内 容 等	対 象	観客数
6月23日(日) 24日(月) 計4回公演	演目：解説「歌舞伎のみかた」 恋飛脚大和往来一封印切— 出演者：中村鴈治郎、市川高麗蔵 ほか 会場：紅葉坂ホール	青少年、 一般	1,395人

b 人形浄瑠璃文楽

実施日	内 容 等	対 象	観客数
10月6日(日) 計2回公演	演目： 【昼の部】 解説（あらすじ） 「二人三番叟」「絵本太功記」夕顔棚の段・尼ヶ崎の段 【夜の部】 解説（あらすじ） 「近頃河原の達引」四条河原の段・堀川猿廻しの段 会場：紅葉坂ホール	青少年、 一般	1,096人

c かながわ伝統文化こども歳時記

実施日	内容・出演団体等	対 象	観客数
メインプログラム 10月26日(土) 伝統芸能WS ・講談：9月23日 (月・祝)、10月13 日(日)、10月26日 (土) ・箏曲：9月23日 (月・祝)、10月14 日(月・祝)、10月 26日(土) ・手妻：10月13日 (日)、10月26日 (土)	①地元の民謡を鑑賞する公演と、舞台にやぐらを組み、民謡の 盆踊りを来場者が参加する企画を実施（紅葉坂ホール） 出演者：ミカド雅峰／DJ帝、清野明子、鳳蝶美成 他 演目：箱根馬子唄、野毛山節 他 ②伝統芸能のミニ公演及びワークショップ（紅葉坂ホール・ホ ワイエ特設ステージ及びホワイエ、スタジオHIKARI、練習室） 内容：講談、箏曲、手妻、乙女文楽、里神楽、ちんどん ③伝統文化の体験ブース（紅葉坂ホール・ホワイエ、スタジオ HIKARI、交流スペース） 内容：相州神輿、竹とんぼ、年中行事、華道 ④伝統芸能ワークショップ 事前に伝統芸能（講談、箏曲、手妻）ワークショップを実施 し、10月26日に成果発表を行った。 講師：講談（宝井琴鶴）、箏曲（吉澤延隆）、手妻（藤山大樹） ⑤子どもスタッフ 司会アシスタントや盆踊りの振付の見本となる小中学生を 公募して、当日の運営に参加していただいた。	子ども、 青少年、 一般	延 648人